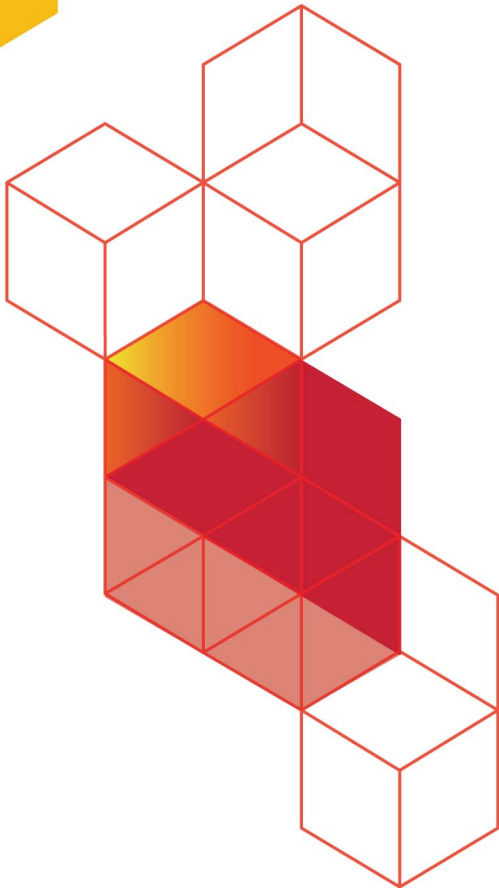




リリースノート



**EMBROIDERY**  
STUDIO **E3**  
with  Corel**DRAW**®

コンテンツ : e3.0F

# 概要

装飾製品業界の最先端デザインソフトウェア、Wilcom EmbroideryStudio e3.0 へようこそ。EmbroideryStudio はデザインの作成 / 編集のすべてをコントロールし、ディテールにこだわる刺繍のプロの為にソフトウェアです。EmbroideryStudio は刺繍とマルチデコレーションデザイン製作で他には類をみない柔軟性を兼ねそろえています。

EmbroideryStudio は Wilcom の刺繍デザインソフトの刺繍機能と CorelDRAW (R) Graphics Suite のグラフィック機能の組み合わせにより、効率的でかつ使いやすいソフトウェアになっています。デザインする過程で徹底したコントロールを必要とする刺繍のプロに最適です。

## Wilcom EmbroideryStudio e3.0 の概要

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 は、刺繍 & マルチデコレーションに必要な機能一式を搭載した Wilcom ソフトウェアの最新版です。このリリースの要点は下記のとおりです。

- ◀ 選択肢と柔軟性に富んだモジュール式プロダクトとエレメント
- ◀ オンラインによるアップデートとアップグレードのソフトウェアサポート
- ◀ Wilcom EMB の表示システムの強化
- ◀ 新導入の CorelDRAW X6 機能
- ◀ Corel と Wilcom の概観と統合の強化
- ◀ ユーザーインターフェースを改良し、利便性、生産性が向上
- ◀ 刺繍、ブリング、プリント機能の改良と新機能の追加
- ◀ 刺繍とブリングレタリングの改良
- ◀ 新機能の TrueView プリント
- ◀ マルチユーザーの為にネットワークドングル
- ◀ 利便性と効率性の向上
- ◀ 新しい Wilcom TrueSizer ウェブ EMB オンライン表示

## リリースノート

リリースノートには、Wilcom EmbroideryStudio e3.0 製品に関する新規及び改良された機能の概要が説明されています。EmbroideryStudio ユーザーマニュアルには、製品すべての機能に関する説明が記載されており、直接リンクが貼られています。これらの文書では正確性を確保する為に最善の努力を尽くしておりますが、ソフトウェアによって画面レイアウトが異なり、画面の図解が実際のものとは異なる場合があることをご了承ください。機能に関しては全製品に標準装備のものとは別料金オプションのもの、また特定の製品レベルのみで可能なものがあります。



**参考** リリースノートをオンスクリーンで参照している際、相互参照をクリックするとマニュアルの該当箇所を表示することができます。リリースノートに戻るには、アクロバットリーダーの全画面へ移動ボタンをクリックします。

# 製品の強化

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、下記の強化を行いました。

- ◀ モジュール式プロダクト & エレメント
- ◀ 作業環境の強化
- ◀ デジタイズの強化
- ◀ デザイン表示の強化
- ◀ レタリングの向上
- ◀ オートデジタイズに関する改良
- ◀ ステッチ品質の向上
- ◀ 利用性の向上
- ◀ インターフェイスの改良
- ◀ その他の改良点

## モジュール式プロダクト & エレメント

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 ではモジュール方式を採用し、市場のニーズにより適したプロダクトとオプションを提供しています。

### なぜモジュール式か？

モジュール式の採用理由とそのメリットとは？


- ◀ 低価格でスタートできる
- ◀ 機能を簡単に少しずつ追加できる
- ◀ ユーザーが自分の好きなように機能を組み合わせることができる
- ◀ プラットフォームを選択して、好きなものだけ追加できる
- ◀ アップデートやアップグレードの情報が簡単に手に入る


















### EmbroideryStudio e3 製品

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、3種類の製品をご用意しています。

- ◀ EmbroideryStudio - レタリング
- ◀ EmbroideryStudio - 編集
- ◀ EmbroideryStudio - デザイン

EmbroideryStudio - デザインは「ゴールド」を含んだレベル1から3に代わる製品です。また EmbroideryStudio - デザインでは、オプションとしてプロダクティブ、クリエイティブ、デコレーションの18個のエレメントをご用意しています。オプションは下記の通りです。

項目	説明
<b>プロダクティブ</b>	
	上級オフセット
	ロゴやワッペンにカラフルなボーダーを加え、ユニークなデザインを作成できます。

項目	説明
 上級チーム ネーム	レタリングレイアウトを再利用できるよう保存が可能。他のロゴやレタリングに変えても、チームネームデザインの作成が簡単に素早くできます。
 ベクター ドローイング	線、四角形、サークル、楕円形が作成でき、ステッチや埋め縫い、他の効果を適用できます。
 ビットマップを オートデジタイズ	ビットマップファイルを使用可能な刺繍ファイルに変換します。
 自動形付け	自動形付けツールでオブジェクトの結合、オーバーラップを自動削除できるほか、オブジェクトを自動的に閉じることもできます。
 自動アレンジ	自動的にオブジェクトを複製&反転します。中心点の周りに配置してリースや万華鏡効果を作成します。
<b>クリエイティブ</b>	
 ユーザー設定 スプリット	版画や彫刻のような凹凸効果を刺繍に追加します。
 フリーハンド	鉛筆でスケッチするように刺繍を作成します。
 フォトフラッシュ	白黒、グレースケール、カラーイメージを刺繍ファイルに変換します。
 陰影効果 & 開いた 埋め縫い	陰影効果や開いた埋め縫いで、刺繍に奥行きを与えます。
 曲線状の埋め縫い	閉じたオブジェクトに動きと奥行きを与え、ユニークな流れるようなステッチパターンを作成します。
 モチーフ	ランニングと埋め縫いのパターンを作成し、再利用することができます。
<b>デコレーション</b>	
 ブリング	種類、サイズ、色の異なるストーンを組み合わせ、デザインを華やかにします。
 TrueView プリント	刺繍そっくりのプリントデザインを作成できます。
 シークイン	シングルまたはツインシークインマシン用の刺繍ファイルを作成できます。
 書体クリエイター	自分だけのユニークな書体を作成することができます。
 サガラ	ロックステッチ刺繍デジタイズシステムにサガラ刺繍の機能を追加できます。
 シフリ	レースワークとエンブレムを正確にしかも効率的に作成 / 準備します。

## TrueSizer の強化

Wilcom TrueSizer は工業用と家庭用刺繍ファイルフォーマットの変換と、デザインのサイズ変更を行えるファイル変換ツールです。現在こちらは2つの形式で無料で提供されています。

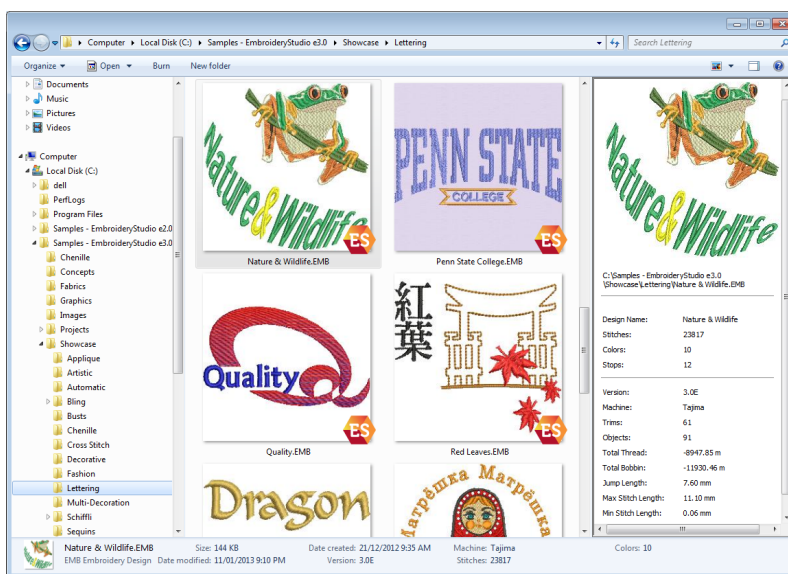
- ◀ Wilcom TrueSizer: 無料でダウンロードできるデスクトップソフトウェア
- ◀ Wilcom TrueSizer ウェブ: 無料オンラインウェブサービス

## 作業環境の強化

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、システムデザイン全体で大幅な改良が行われています。

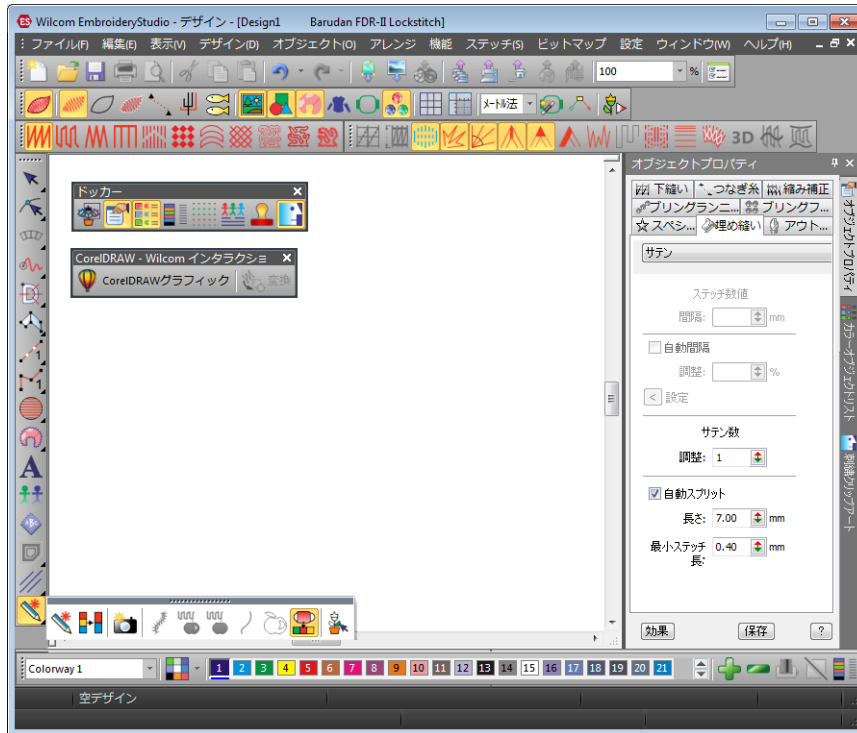
### Wilcom EMB の表示システムの強化

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では Windows Explorer と ES デザインエクスプローラー内で、TrueView のデザインサムネイルが特大サイズで表示されるようになりました。サムネイルにはマルチデコレーション等の表示可能なすべてのデザイン項目が含まれます。



## ユーザーインターフェースの向上

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 ではパートナー製品である CorelDRAW (R) Graphics Suite X6 に合わせて、新しい配色とインターフェースのアップデートを行っています。インターフェイスの改良も併せてご覧下さい。



### 特色：

- ◀ アプリケーションを 30 ~ 50% 早く起動 (Windows 7 PC では 25 ~ 30 秒早い)
- ◀ インターフェースの向上：
  - ◀ 関連のある機能と機能ボタンのグループ化の見直し
  - ◀ 大きく、明るくなったアイコンボタン
  - ◀ 設定がより簡単になったツールバーとドッカー
- ◀ 新 / 既存のユーザーの為に強化されたアシスト
  - ◀ 拡大したツールチップ
  - ◀ ソフトウェア内の機能に関するビデオ
  - ◀ メイン機能を例示した新しいサンプルデザイン
- ◀ TrueView、刺繍シュミレーション等の改良は下記をご覧ください。

## 新導入 CorelDRAW X6 機能

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 は新製品である CorelDRAW(R) Graphics Suite X6 を導入しています。

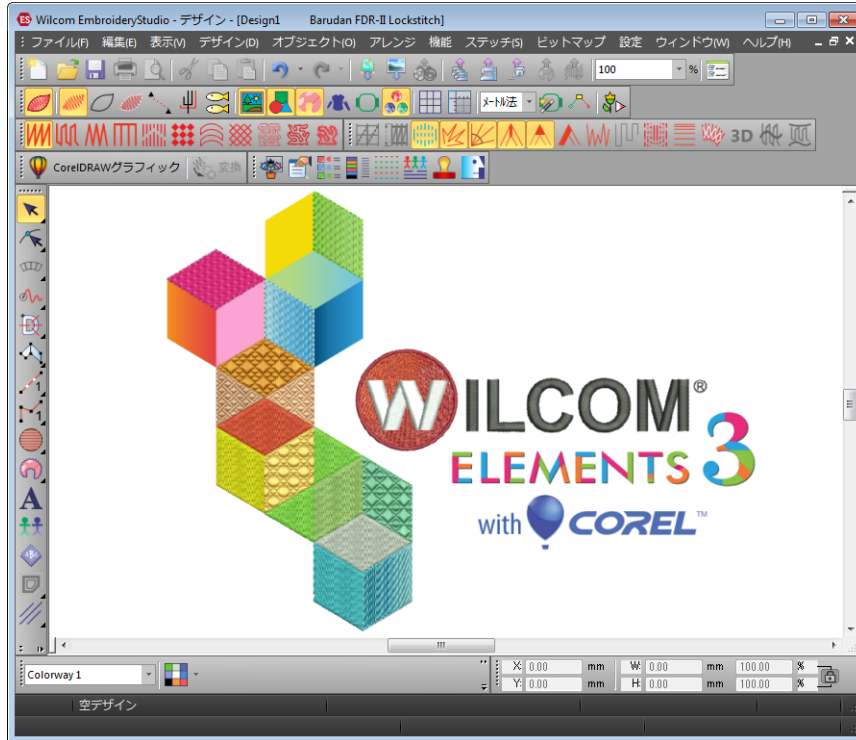


特色：

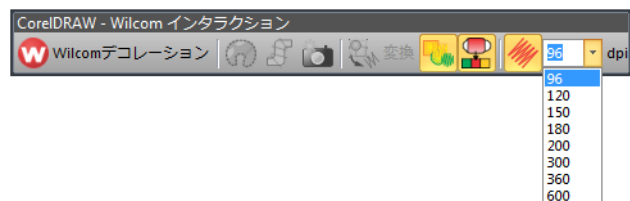
- ◀ 複数のページデザイン、レイヤー、レイアウトが可能
- ◀ 新しいコンテンツ（クリップアート、写真、書体が多数搭載）
- ◀ 上級 OpenType サポート
- ◀ 複合書体（アジア、アラビア言語）の性能の強化
- ◀ 自動カラー設定
- ◀ Corel CONNECT のマルチトレイ
- ◀ 創造性に富んだベクター形付けツール
- ◀ ドキュメント、オブジェクト、カラースタイルの使用
- ◀ ウェブデザインソフトウェア

## Wilcom-Corel の統合の向上

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、Wilcom-Corel の統合の改良を行っています。



ユニバーサルツールバーは、CorelDRAW-Wilcom インタラクションツールバーに名前が変更になりました。



特色：

- ◀ Corel のインストールが任意となり、設定可能に：
  - ◀ 32 ビットまたは 64 ビットの選べる Corel アプリケーションーさらに早く
  - ◀ 30 日間のお試し版 - 継続的なインストールの為に Corel に無料登録
- ◀ CorelDRAW(R) Graphics Suite X6 と EmbroideryStudio - デザイン
- ◀ Corel と Wilcom デコレーションデザインウィンドウの統合に関する改良：
  - ◀ より見やすいユーザーインターフェース
  - ◀ Corel ウィンドウの刺繍 TrueView の改良
- ◀ より質の高い刺繍変換（ターンするステッチ&平行なステッチ）：
  - ◀ ビットマップとベクターアートワークを自動的に刺繍に変換
  - ◀ 自動 / 手動で刺繍タイプの割り当て

## 利便性と効率性の向上

利便性と効率性に関する下記の改良が行われています。

- ◀ e3 製品モデルとオプションをサポートするソフトウェアのインストールの改良



- ◀ e3 では e2 と同じドングルを使用 - ドングルを交換せずにアップデート可能
- ◀ ヘルプメニューから製品モデルとモジュールの確認が可能
- ◀ 利用できるプロダクトのアップデート / アップグレードの通知
- ◀ サービスパックまたはアップデートのインストール時のユーザー設定の初期値の維持
- ◀ Windows7、8 との相互性
- ◀ 第一言語グループの e3.0 先行リリース(ソフトウェアメッセージのみ) - 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語

## マルチユーザー用のネットワークドングル



Wilcom EmbroideryStudio e3.0 ではネットワークドングルを提供しています。ネットワークドングルとは：

- ◀ 同時ユーザー人数の設定が可能
- ◀ 教育機関や企業ユーザーに最適
- ◀ デザインワークフローを含め、どの e3 製品モデルも起動可能
- ◀ ネットワーク上のすべてのシステムは同じ製品とオプションを持つ
- ◀ 3 種類のネットワークドングル (最大 10、50、250 人までサポート)
- ◀ その他の製品にはドングルは単独で使用可能 - ネットワークドングルでないドングルがマシンに接続されていると、このドングルが優先されます。

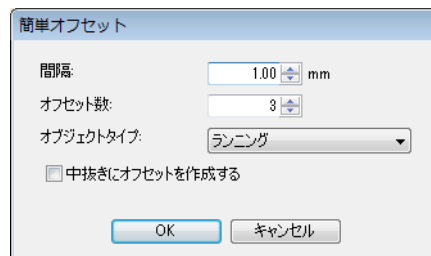
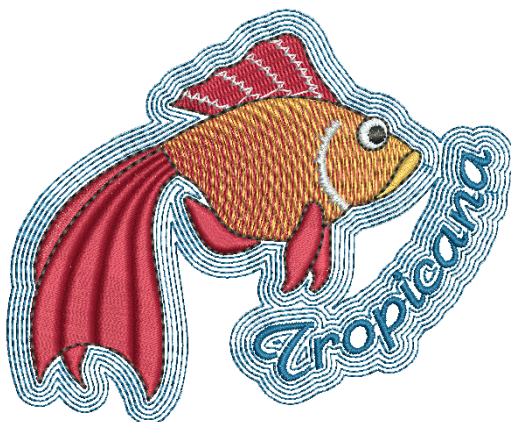
## デジタイズの強化

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では刺繍デジタイズに関する改良を行っています。

### アウトライン & オフセットの強化

-  ツールボックス > 作成スペシャルツール > 簡単オフセットを使用し、刺繍オブジェクトまたは閉じたベクターオブジェクトの正確なアウトラインを作成する。
-  ツールボックス > 作成スペシャルツール > アウトライン & オフセットを使用し、埋め縫い刺繍オブジェクトまたは閉じたベクターオブジェクトのアウトラインとオフセットを作成する。

簡単オフセット機能は EmbroideryStudio - デザインで標準装備になっています。この機能は様々なスタイルのアウトラインで選択オブジェクトやデザイン全体に素早くアウトラインステッチを作成します。詳細はオンスクリーンマニュアルの[簡単オフセットを作成する](#)をご覧ください。

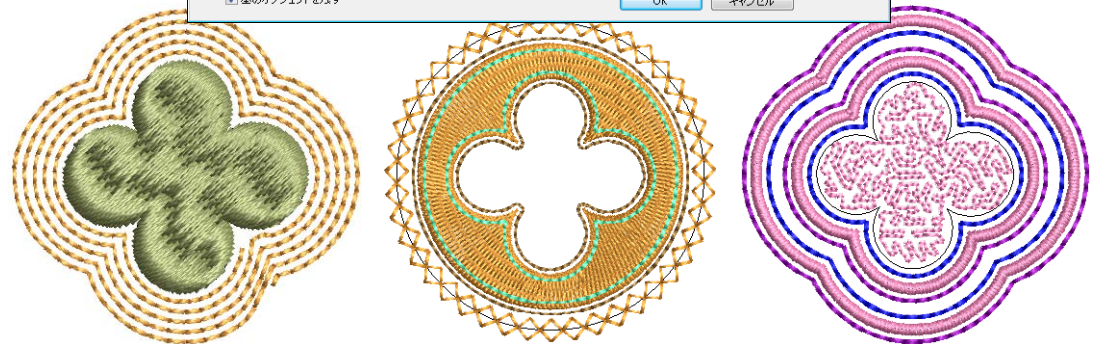
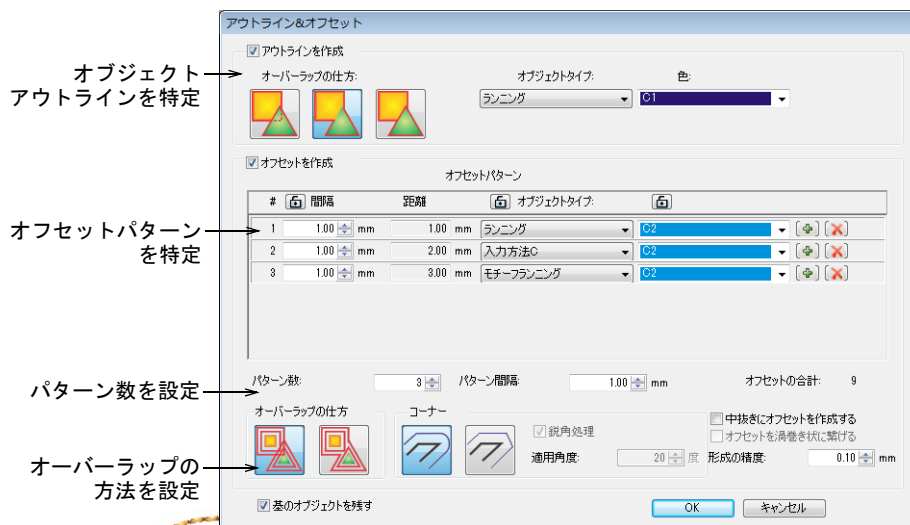


上級アウトライン&オフセットは別料金オプションです。詳細はオンスクリーンマニュアルの**アウトラインとオフセットを生成する**をご覧ください。






特色：

- ◀ デザイン全体やデザインオブジェクトに1度の操作で自動的にアウトラインを作成
- ◀ 複数のオブジェクトのオフセットを作成し、オーバーラップを取り除く
- ◀ 複合理め縫いなどのオブジェクトタイプも選択可能
- ◀ 複数オフセットのステッチタイプと色が選択可能
- ◀ リpeatするパターンの定義



## フリーハンドステッチ & カリグラフィ

-  ツールボックス > フリーハンドツール > フリーハンド（開いたオブジェクト）を使用し、フリーハンドで刺繍アウトラインを作成する。
-  ツールボックス > フリーハンドツール > フリーハンド（閉じたアウトラインオブジェクト）を使用し、フリーハンドで刺繍アウトラインオブジェクトを作成する。
-  ツールボックス > フリーハンドツール > フリーハンド（閉じた埋め縫いオブジェクト）を使用し、フリーハンドで刺繍埋め縫いオブジェクトを作成する。

フリーハンド機能がさらにパワーアップしました。すべてのアウトラインステッチタイプが閉じた / 開いたカーブのフリーハンドと共に使用できます。開いたオブジェクトまたは閉じたアウトラインオブジェクトツールを選択すると、ランニングやトリプルランニング、またその他のステッチタイプがドロップリストで選択できます。閉じた埋め縫いツールを選択すると、すべての埋め縫いステッチタイプがドロップリストで選択できます。詳細はオンスクリーンマニュアルの [フリーハンド刺繍を作成する](#) をご覧下さい。



これらのオプションを使えば、デザインの可能性と創造性は無限に広がります。ペンタブレットと一緒に使用して更に利便性を高めることもできます。

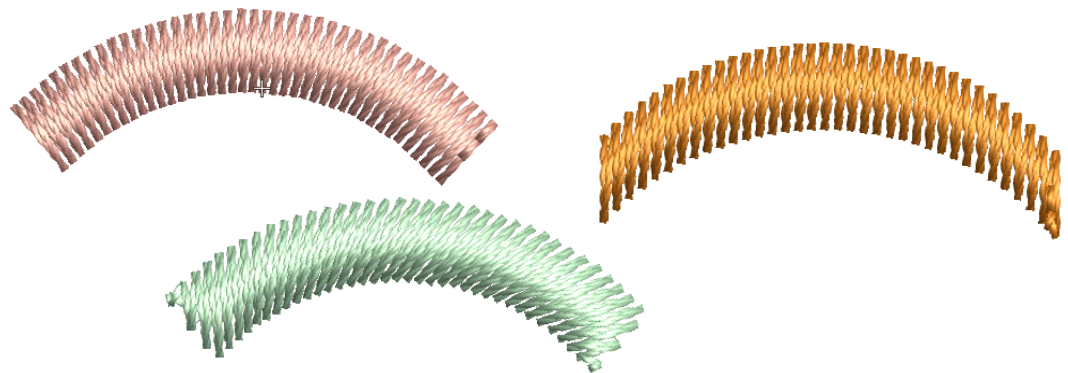


新機能の入力方法C 角度と方向のコントロール（下記を参照）と組み合わせて、フリーハンド（開いたオブジェクト）でカリグラフィー風の刺繍を作成することができます。

# Freehand Freehand

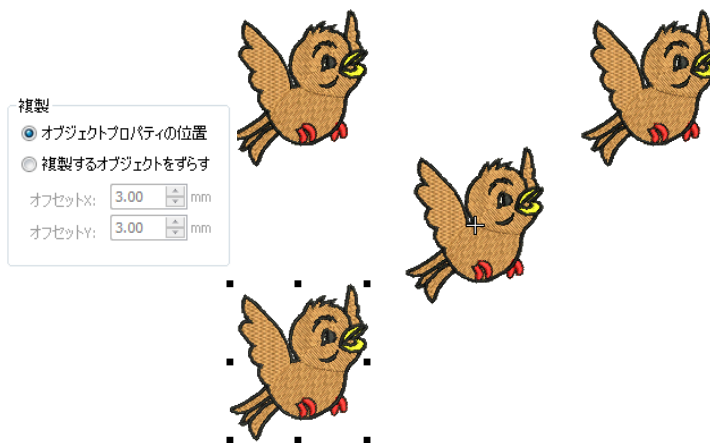
## 調整可能なステッチ角度を持つターニング埋め縫い [サテン]

入力方法C ツールで角度、方向、平行なステッチをコントロールできるようになりました。入力方法C とフリーハンドツールと一緒に使用して、カリグラフィー風の効果をj得ることができます。入力方法C の調整可能なステッチ角度も併せてご覧ください。



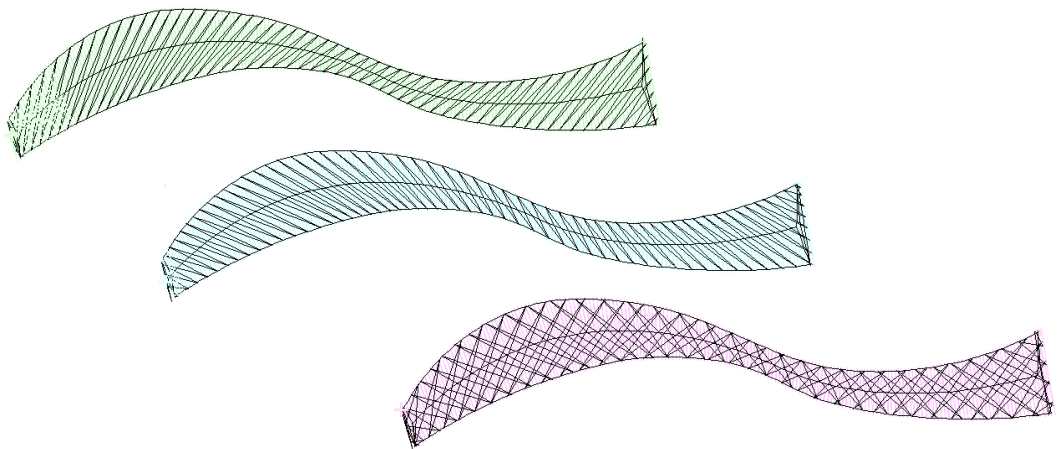
## 複製オブジェクトをオフセットを反復する

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、貼り付け機能に似たオプションを複製機能で使えるようになりました。複製を基のオブジェクトと同じ位置に作るか、またオフセットさせるか選択することができ、複製オブジェクトを反復して作成 / 配置することができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの**オブジェクトを複製する**をご覧ください。



## 斜めのジグザグ下縫い

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、入力方法 A、B、C オブジェクトで編集できる斜めのジグザグとダブルジグザグの下縫いを使用することができます。**斜めのジグザグとダブルジグザグ下縫い**も併せてご覧ください。



## 新機能 TrueView プリント

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、TrueView プリント用に高解像度の TrueView デジタルプリントを導入しており、とてもリアルな仕上がりになっています。この機能は刺繍



業や DGT 印刷業のビジネスに柔軟性を持たせることができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの **TrueView プリントのデザインオプション** をご覧下さい。



## グラフィックから刺繍への変換の改良

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、グラフィックから刺繍への変換に関する大幅な改良を行っています。詳細は **オートデジタイズに関する改良** をご覧下さい。



特色：

- ◀ CorelDRAW(R) Graphics Suite からのビットマップとベクターグラフィックの一発変換
- ◀ Wilcom デコレーションデザインウィンドウからのインタラクティブな変換
- ◀ 自動イメージ準備、色数の減少、ステッチの割り当て
- ◀ スキャンしたイメージやグラフィックから素早く高品質のステッチを生成

## デザイン表示の強化

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、デザイン表示に関して大幅な改良が行われています。

## TrueView イメージ表示の向上

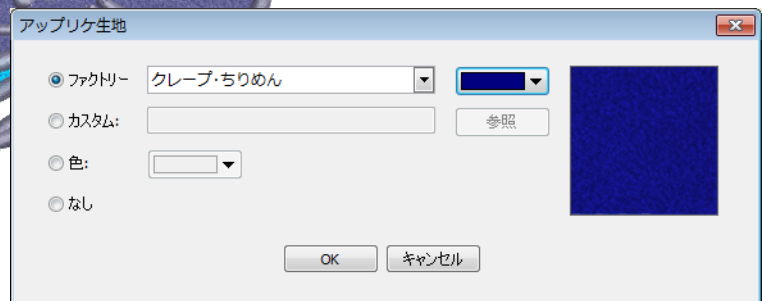
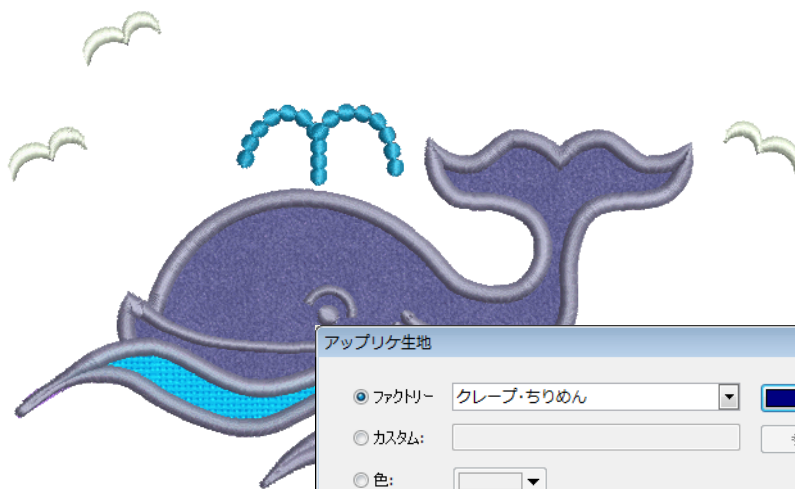
Windows とデザインエクスプローラーでの TrueView の特大サムネイルの導入に加えて、TrueView 表示はデザイン環境のあらゆる面で改良が行われています。

- ◀ Wilcom デコレーションデザインウィンドウ
- ◀ CorelDRAW グラフィックデザインウィンドウ
- ◀ 新機能ビットマップを TrueView プリントとしてキャプチャー機能。**新機能 TrueView プリント**も併せてご覧ください。
- ◀ アプリケとマルチデコレーションオブジェクトの TrueView 表示



## アプリケオブジェクトの生地見本

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、アプリケオブジェクトの生地見本を選択できるようになりました。この見本はオブジェクトのプロパティになります。詳細はオンスクリーンマニュアルの**アプリケの設定を調整する**をご覧ください。

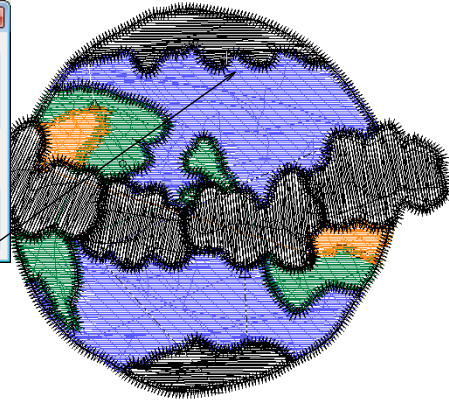
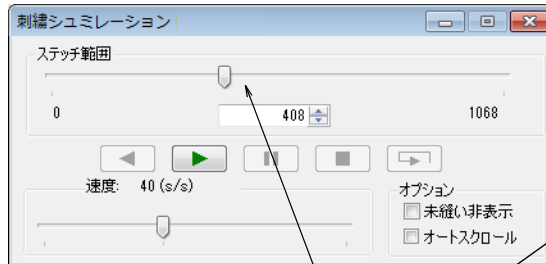


## 刺繍シュミレーションの強化



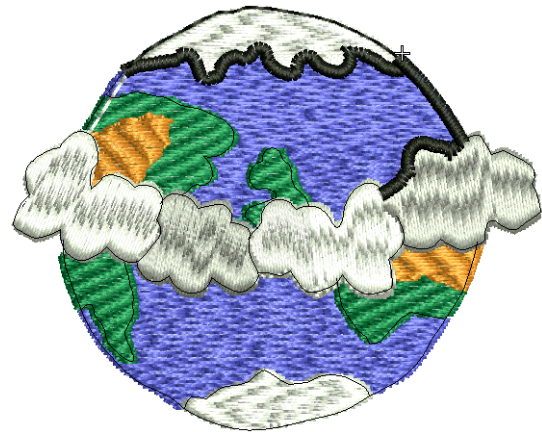
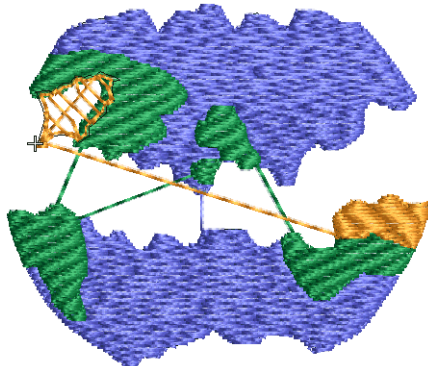
表示 > 刺繍シュミレーションを使用し、画面上で刺繍デザインの縫製をシュミレートする。

刺繍シュミレーションはEmbroideryStudio 重要なツールの一つで、刺繍デザインの実際の仕上がり順序をシュミレートできます。刺繍シュミレーションはステッチ範囲コントロールが追加され、改良されています。詳細はオンスクリーンマニュアルの**デザインの縫い順序をシュミレーションする**をご覧ください。



このポイントから  
シュミレーションするよう  
ステッチ範囲を設定

刺繍シュミレーションは、TrueView とステッチ表示の両方で使用することができるようになりました。

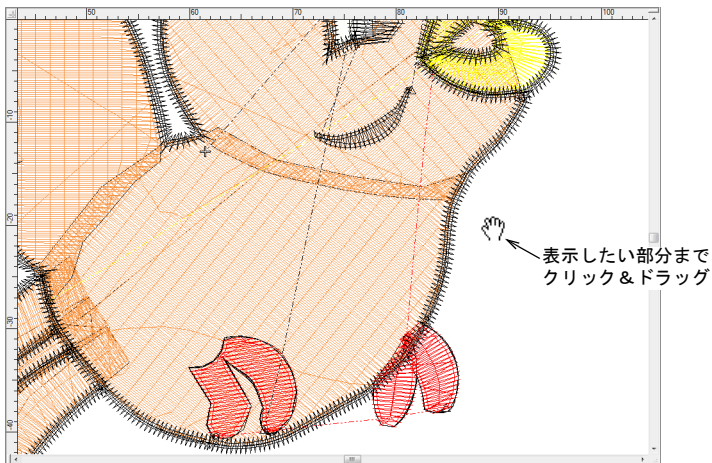


## パンニングをズームの強化

パンニングは非常に使用頻度の高い機能です。「手のマーク」ツールはデザインウィンドウ上をクリックしてつかみ、ドラッグすることができるツールで、EmbroideryStudioに



導入されています。詳細はオンスクリーンマニュアルの**デザインのズーム&パンニング**をご覧ください。



初期設定のズーム動作が修正されています。以前のマウスホイール動作は：

- ◀ 初期設定動作：ズーム 2X
- ◀ Shift を押している間：ズーム 1.25X

新しいのマウスホイール動作は：

- ◀ 初期設定動作：ズーム 1.25X
- ◀ Shift を押している間：ズーム 2X

### より正確な大きさに調整されたプロダクトイメージ

プロダクトイメージの初期設定 (100%) の標準サイズ製品の大きさがより正確になりました。詳細はオンスクリーンマニュアルの**プロダクトをビジュアル化する**をご覧ください。



## レタリングの向上

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、刺繍とマルチデコレーションレタリングの改良が行われています。

### レタリングオブジェクトの自動ステッチ生成

レタリングオブジェクトのステッチを生成するのに、以前は<G>を押す必要がありましたが、ステッチが自動的に生成されるよう改良されました。チームネームのステッチは以前と同様に自動的に生成されません。例外の場合、ポップアップで表示されます。

### 新機能 ブリングレタリング



ブリング>ブリングレタリングを使用し、ネイティブ刺繍書体またはTrueTypeフォントでブリングレタリングを作成する。右クリックで設定。

Wilcom EmbroideryStudio e3.0ではブリングレタリングを作成することができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの**ブリングレタリングを作成する**をご覧ください。

Bling Block



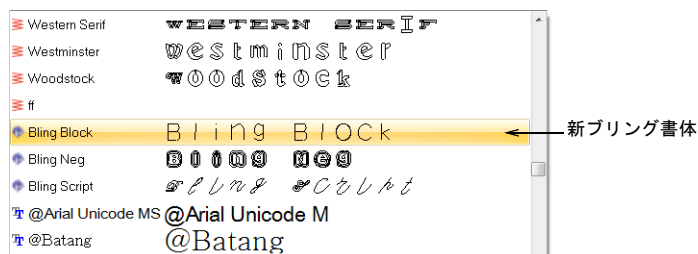
新機能ブリングレタリング

Bling Script

Bling Hollow

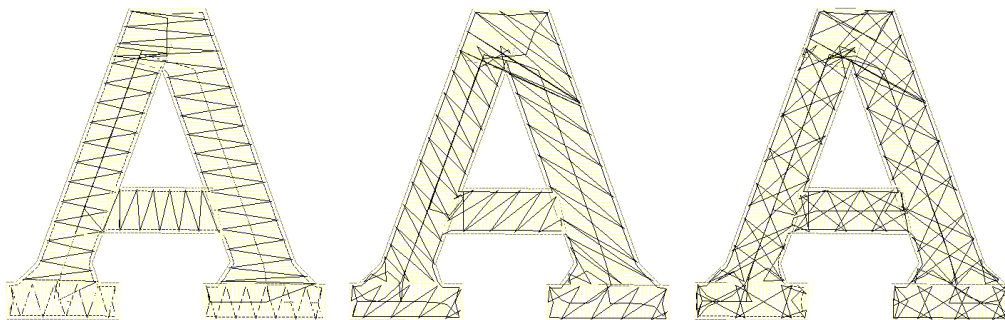
特色：

- ◀ ブリングレタリングはサイズ変更が可能
- ◀ ブリング自動フィル、アウトラインの使用が可能
- ◀ 刺繍書体がブリングの使用が可能
- ◀ TrueType フォントでブリングの使用が可能
- ◀ ブリングレタリングのオブジェクトプロパティはすべて編集可能
- ◀ ブリング特有の新書体



## レタリングの斜めのジグザグ下縫い

レタリングにジグザグの下縫いを使用する際ステッチ角度を調整して網目効果を作ることができ、通常のジグザグよりもより強いサポートを与えることも可能です。**斜めのジグザグとダブルジグザグ下縫い**も併せてご覧ください。



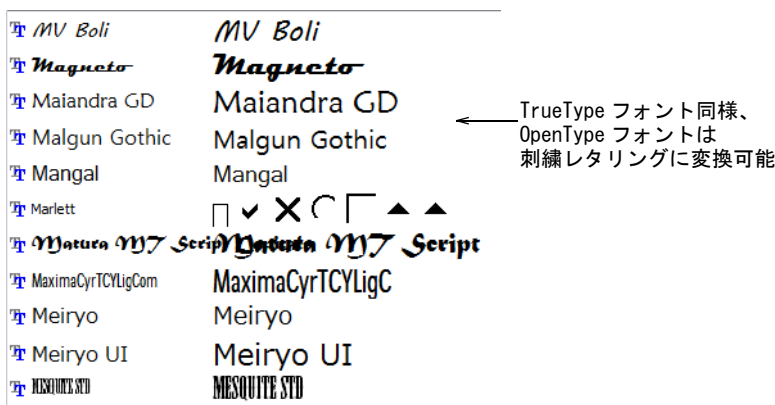
初期設定ジグザグ

斜めのジグザグ

斜めのダブルジグザグ

## OpenType フォントのサポート

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では OpenType フォントをサポートしていますが、書体リストには TrueType アイコンで表示されています。OpenType フォントは刺繍レタリングに変換することができるようになりました。



## マルチレベルに分解できるレタリング



アレンジ>分解を使用し、モノグラム、アップリケ、レタリング等の複合オブジェクトを構成要素に分解する。

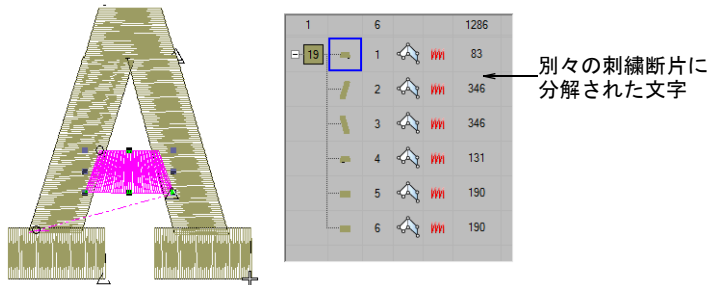
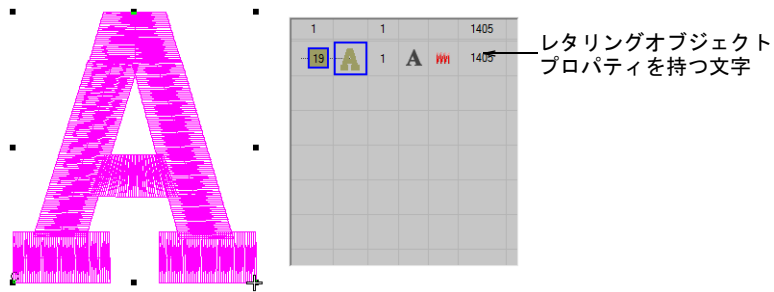
レタリングオブジェクトに分解機能を適用すると、レタリングオブジェクトの特性を保ちつつ、理にかなったステッチ順序で分解します。オブジェクトプロパティはラインや

単語、また文字まで別々に編集することができます。ステッチ順序は維持されます。詳細は**ブランチングされたオブジェクトを分解する**をご覧ください。



順序に関する決まりは下記の通りです。

- ◀ 複数行に渡るレタリングは、ラインごとに別々のオブジェクトに分解することができる
- ◀ 個々のラインは単語ごとに別々のオブジェクトの分解することができる
- ◀ 単語は文字ごとに別々のオブジェクトに分解できる
- ◀ 文字は個々の刺繍断片に分解できる。レタリングプロパティは失われるが、各断片のプロパティは個々に変更される





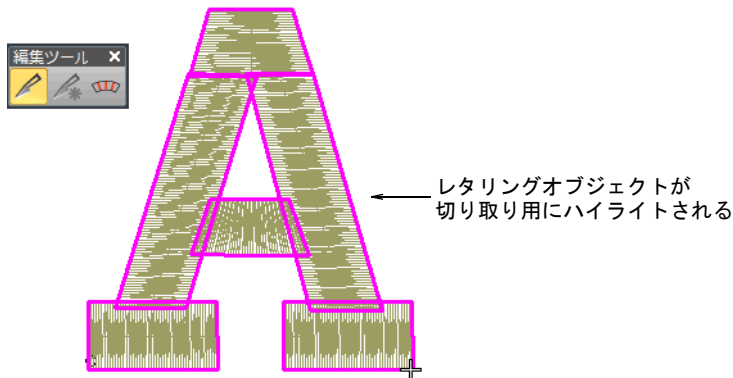
参考 1行に複数の単語を含むオブジェクトでセンターから外側のステッチ順序の場合、例外となります。このようなオブジェクトは直接一文字のオブジェクトに分解されます。従って、ステッチ順序は保持されます。

## ナイフツールでレタリングを切り取る



ツールボックス>編集ツール>ナイフを使用し、オブジェクトタイプ、ステッチ設定と色を維持してデジタイズラインにそってカットを行う。

レタリングオブジェクトを選択しナイフアイコンをクリックすると、オブジェクトは切り取り用の太い赤紫色のアウトラインでハイライトされます。詳細はオンスクリーンマニュアルの[マニュアルで形状をカットする](#)をご覧ください。



## 刺繍レタリングからベクターに変換する



CorelDRAW-Wilcom インタラクション>刺繍をグラフィックに変換を使用し、選択した刺繍をグラフィックに変換し、CorelDRAW グラフィックに切り替える。

CorelDRAW-Wilcom インタラクションツールバーの変換ボタンで、刺繍レタリングをベクターに変換することができるようになりました。

Friends Forever

レタリングを  
ベクターに変換

Friends Forever

## 新書体

Wilcom EmbroideryStudio e3.0には、新しくプロによりデジタイズされた書体が導入されています。詳細は**新書体の導入**をご覧ください。



含まれる新書体：

- ◀ 新ブリング書体 3 種類
- ◀ 新ロゴ書体 3 種類
- ◀ 新ファンシーアコーディオンフィル書体 1 種類
- ◀ ランニングステッチ書体 4 種類
- ◀ キリル書体 2 種類



参考 新日本語書体（各 3000 文字づつ）は [www.wilcom.com](http://www.wilcom.com) からダウンロードいただけます。

## オートデジタイズに関する改良

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、オートデジタイズに関する改良が行われています。


### Point&Stitch の改良

Point&Stitch とスマートデザインのオートデジタイズ機能は、オートデジタイズツールグループとして一つに統合されました。詳細はオンスクリーンマニュアルの**オートデジタイズで形状をデジタイズする**をご覧ください。



統合された Point&Stitch とスマートデザインツールセット

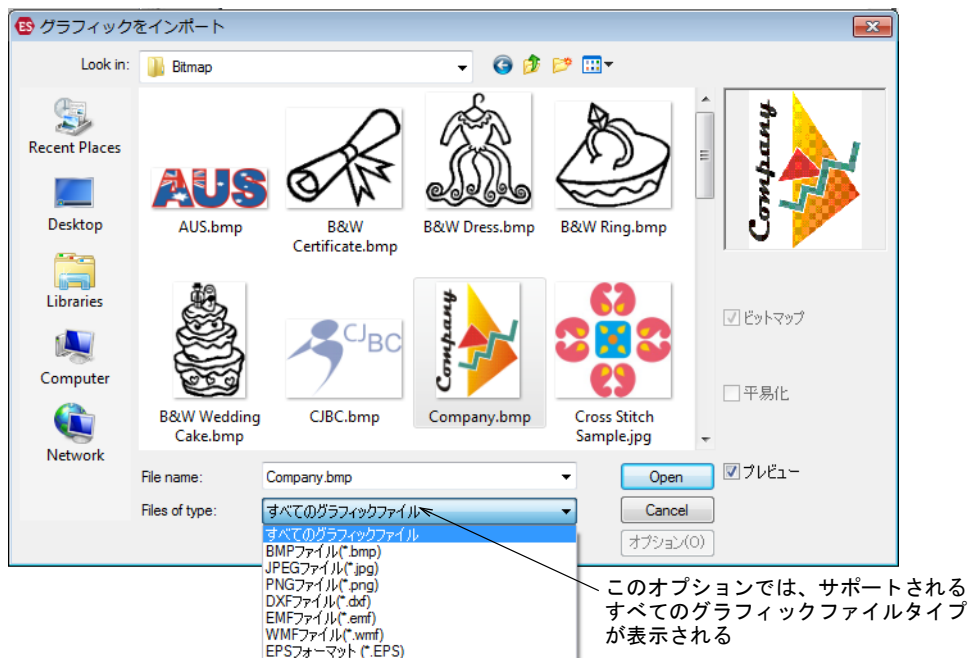
### グラフィックのインポートの改良

 標準>グラフィックをインポートを使用し、ベクターグラフィックまたはビットマップイメージをデザインにインポートする。

インポート機能はファイル>グラフィックをインポートコマンド、または対応するツールバーからアクセスできます。ダイアログはサポートするすべてのファイルタイプ (BMP、PNG、EPS など) を表示する「すべてのグラフィックファイル」が初期設定となっています。特定のファイルタイプ (例 :BMP) で検索するのでないかぎり、ファイルの



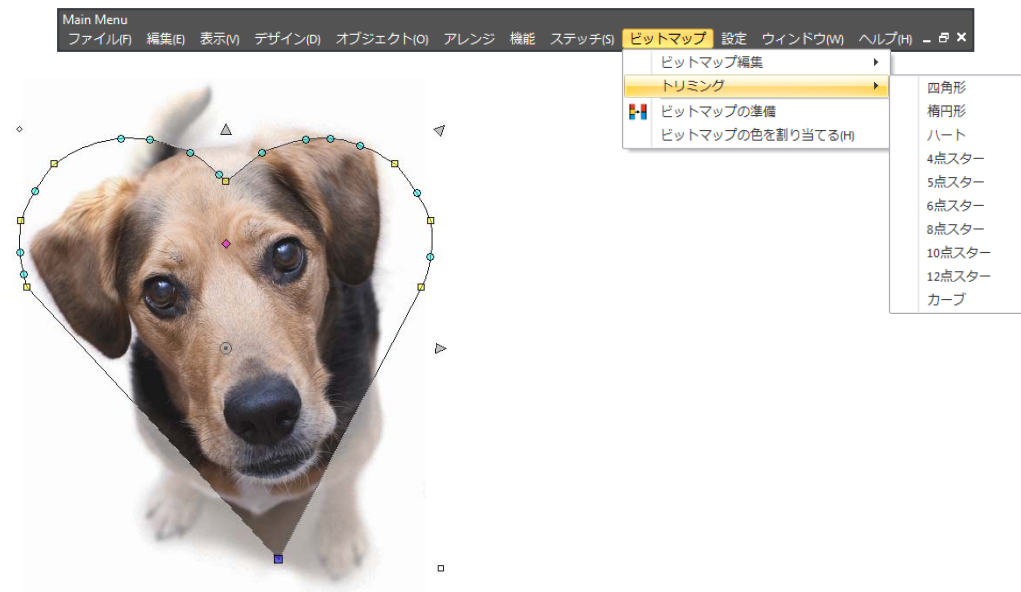
種類設定を変更する必要はありません。詳細はオンスクリーンマニュアルの**ビットマップイメージをインポートする**をご覧ください。



メモ 「すべてのグラフィックファイル」にはベクターとビットマップ両方のフォーマットが含まれていますが、ネイティブの CDR や他のベクターファイルタイプには CorelDRAW (R) Graphics Suite のインポート機能を使用してください。

## 新機能 「一時切り取り」機能

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、切り取り機能の大幅な改良が行われており、いつでも切り取りエリアの変形や削除が可能な「一時切り取り」ができます。デジタイズの下絵用や自動処理用など、イメージの使用したい部分のみを表示することができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの**ビットマップイメージを切り取る**をご覧ください。



## ビットマップの準備の改良



ツールボックス>オートデジタイズツール>ビットマップの準備を使用し、オートデジタイズ用にビットマップイメージを準備する。

旧色数を減少とアウトラインをはっきりさせる機能は、ビットマップの準備ダイアログに統合されました。詳細は[オートデジタイズに使用するイメージを下処理する](#)をご覧ください。

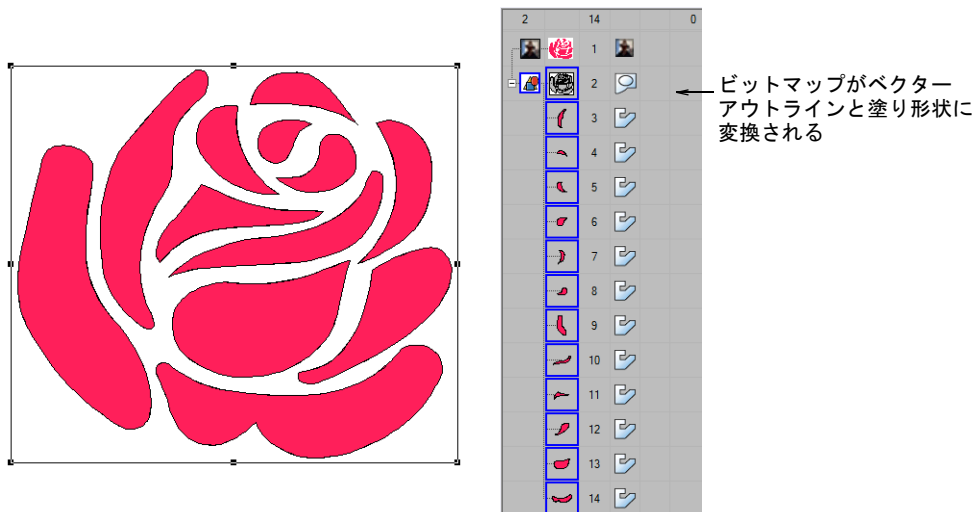


特色：

- ◀ 基礎となるイメージ（アウトラインまたはノンアウトライン）の処理操作の単純化
- ◀ 向上した減少した色数の初期設定
- ◀ 処理を行う基礎となるイメージの「粒度」が設定可能
- ◀ 処理したイメージの各色の選択表示が可能
- ◀ 必要に応じて選択色の合成が可能
- ◀ さらに精密になったプレビュー

## オートトレース機能の改良

オートトレースツールは、ビットマップイメージ全体を自動的にベクター（アウトラインと塗り形状の両方）にトレースすることが可能になりました。詳細はオンスクリーンマニュアルの[アートワークを自動トレースする](#)をご覧ください。







メモ ビットマップの色数を減少させる準備が必要な場合、オートトレースをクリックすると直接ビットマップの準備ダイアログに移動します。

## CorelDRAW(R) Graphics Suite のグラフィック変換の改良

CorelDRAW(R) Graphics Suite の変換の改良により、ビットマップやベクターに関わらずどのグラフィックでも直接刺繍に変換することができるので、選択するイメージのタイプを気にせずに作業が行えます。



特色：

- ◀ より簡単に、より質のいい結果が得られる
- ◀ ビットマップを Corel 経由でまたは直接 Wilcom デコレーションにインポートまたはスキャンできる
- ◀ 完全自動または設定可能なイメージ処理
- ◀ 優れたビットマップのノイズ減少と色数の減少
- ◀ 完全自動または設定可能な色によるステッチの割り当て
- ◀ すべて編集可能な刺繍オブジェクト
- ◀ プロ仕様のステッチ品質

### 変換したベクターの縮み補正

ベクターオブジェクトを刺繍に変換すると、刺繍に最適な形状になるよう平易化されます。隙間が形成されるのを減らすよう、ベクターを刺繍に変換した時のみ縮み補正は2倍になります。

## スマートデザインにおける改良点



ツールボックス>オートデジタイズツール>スマートデザインを使用し、インポートしたアートワークから直接刺繍デザインを作成する。

スマートデザイン機能はWilcom EmbroideryStudio e3.0 で大幅な見直しが行われています。詳細はオンスクリーンマニュアルの**スマートデザインでビットマップを変換する**をご覧ください。



特色：

- ◀ オートデジタイズを行う全体的な手順の減少
- ◀ 処理の行われてないイメージも使用が可能（必要に応じてビットマップの準備ダイアログが開く）
- ◀ 並び替えの行われたカラーブロックの使用が可能
- ◀ 現在のカラーウェイだけでなく、自動的に選択した糸チャートにビットマップの色を割り当てるオプション
- ◀ ノンアウトラインデザインに自動的にアウトラインを追加するオプション

## グラデーション塗りつぶし変換の向上

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 ではグラデーション塗りつぶしを使用されているベクターを変換すると、適切な色が使用されるよう修正されました。グラデーションの開始カラーが糸色となります。詳細はオンスクリーンマニュアルの**ベクターと刺繍オブジェクトを変換する**をご覧ください。

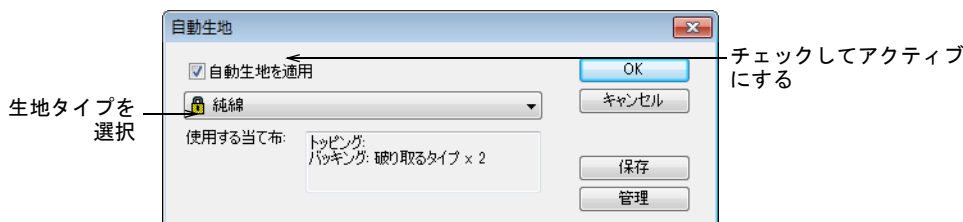


## ステッチ品質の向上

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、刺繍ステッチの品質に関する多くの改良が行われています。

### 自動生地改良

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、自動生地に関する大幅な改良が行われています。デザイン>自動生地コマンドにいつでもアクセスできるようになりました。詳細はオンラインマニュアルの**生地を扱う**をご覧ください。



特色：

- ◀ プロ仕様のステッチ品質
- ◀ より簡単な選択とアプリケーション
- ◀ 旧 / 新デザインに適用可能

### 下縫いと縮み補正設定の修正

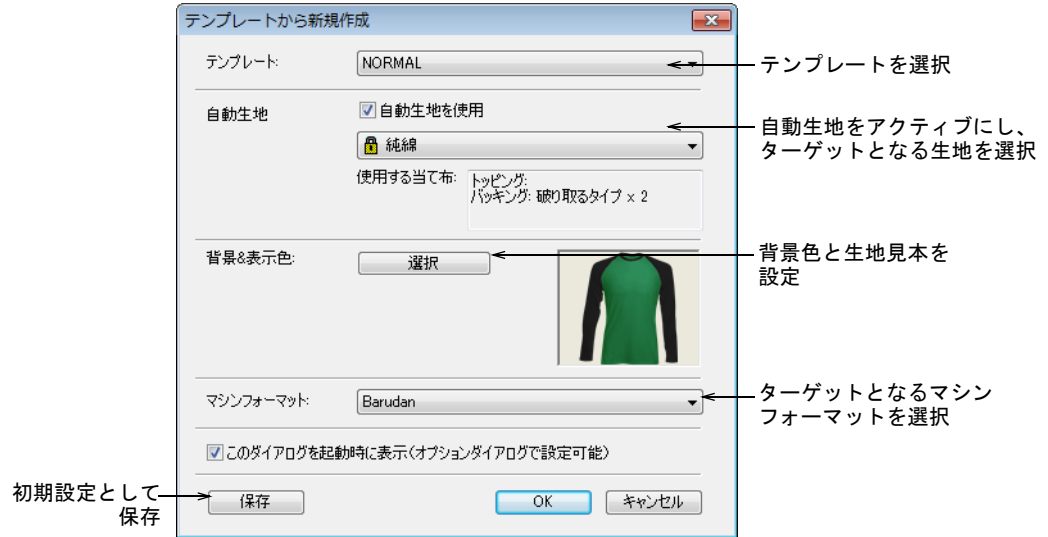
以前はテリータオル地をベースにしたユーザー設定生地のタタミ + タタミ設定が、ユーザー設定生地が適用された複合埋め縫いのタタミオブジェクトを作成したときにタタミ + ジグザグとして判断されていましたが、現在は一貫してタタミ + タタミ下縫いが生成されるように修正されました。

自動生地の縮み補正設定は、ターゲットとなる生地でよりよい結果がさせるよう修正されました。


### デザイン作成機能の向上

テンプレートから新規作成機能では、選択したテンプレートの初期設定のみを基にしたリ、生地設定を追加することができます。この機能は旧自動生地設定アシスタント機能

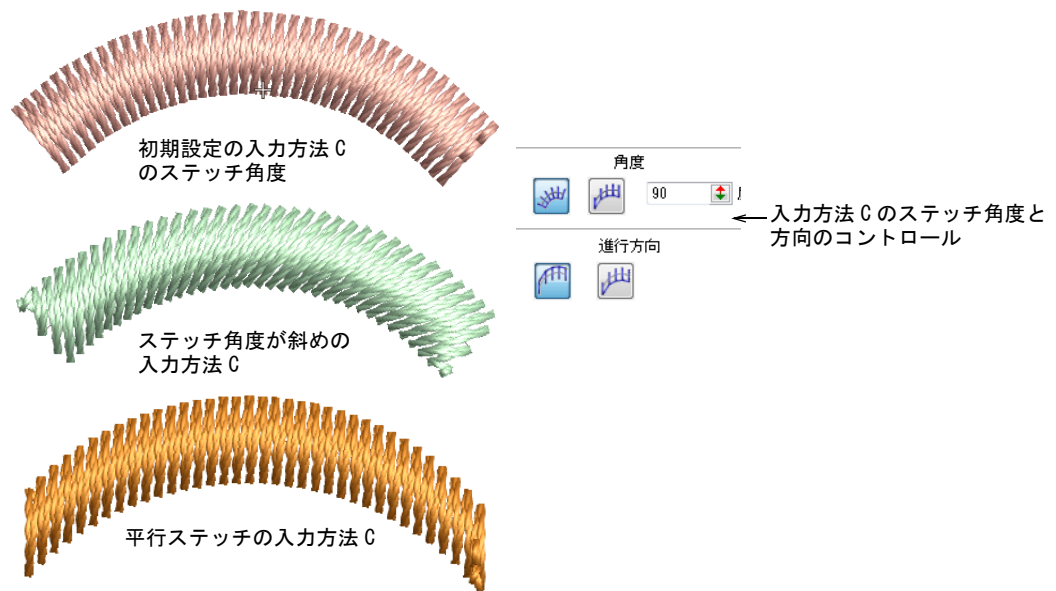
に代わるもので、さらに改良を加えています。詳細はオンスクリーンマニュアルの**デザインを作成、保存する**をご覧ください。



## 入力方法 C の調整可能なステッチ角度

 ツールボックス > コラム形状ツール > 入力方法 C を使用し、固定幅のコラムやボーダーをデジタイズする。右クリックで設定。

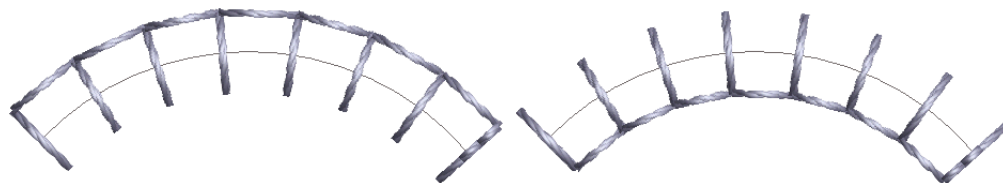
入力方法 C ツールで、ステッチ角度と方向のコントロールができるようになりました。オンスクリーンマニュアルの**ボーダーをデジタイズする**も併せてご覧ください。



角度と方向コントロールの機能性：

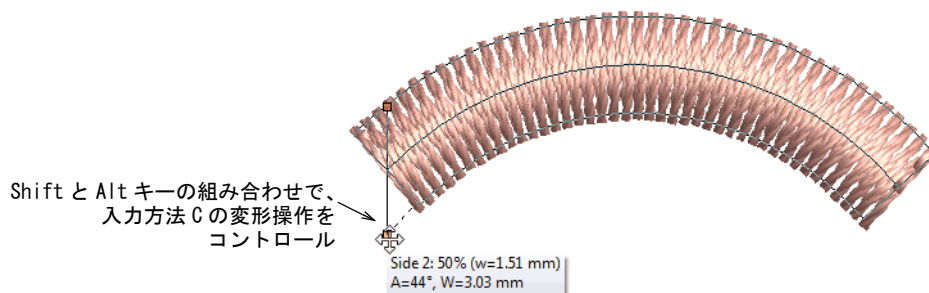
- ◀ ベースラインと関連したステッチ角度のコントロール
- ◀ 平行なステッチ作成と水平に対する角度のコントロール。フリーハンドと共に使用して、カリグラフィのようなステッチを作成するのに使用する。**フリーハンド刺繍を作成する**も併せてご覧ください。

- ◀ 方向コントロールでステッチを開始する側を設定する。Eステッチに最も有効






入力方法Cオブジェクトの変形操作は、上記の改良を反映しています。

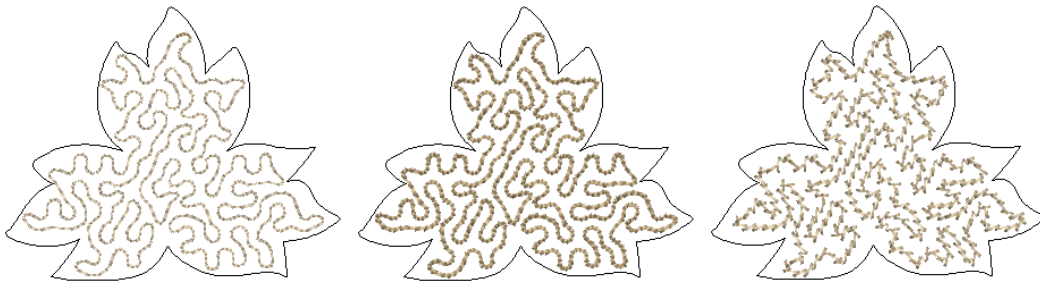
- ◀ オブジェクト変形ツールがアクティブの場合、変形ハンドルをドラッグしオブジェクトの幅をコントロール
- ◀ <Alt> を押し下げながらドラッグして、オフセットを調整
- ◀ <Shift> を押し下げながらドラッグして、角度を調整



## バックステッチ & ステムステッチのスティプルフィル



-  ステッチタイプ>スティプルフィルを使用し、ボーダー内で不規則にうねるランニングステッチで埋め縫いを作成する。右クリックで設定。
-  ステッチタイプ>スティプルバックステッチを使用し、ボーダー内で不規則にうねるバックステッチの埋め縫いを作成する。右クリックで設定。
-  ステッチタイプ>スティプルステムステッチを使用し、ボーダー内で不規則にうねるステムステッチの埋め縫いを作成する。右クリックで設定。

Wilcom EmbroideryStudio e3.0では、スティプルフィルと一緒に使用できるステッチタイプの種類が増えました。ステッチタイプツールバーには、スティプル用のステムステッチとバックステッチの2つの新しいアイコンが含まれています。ステッチ長とループの間隔を調整することで、スティプルオブジェクトの糸密度をコントロールできます。スティプルフィルのオブジェクトは、他の複合形状のように変形することができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの[スティプルラン効果を作成する](#)をご覧ください。





## 最大値が増したステムステッチとバックステッチ

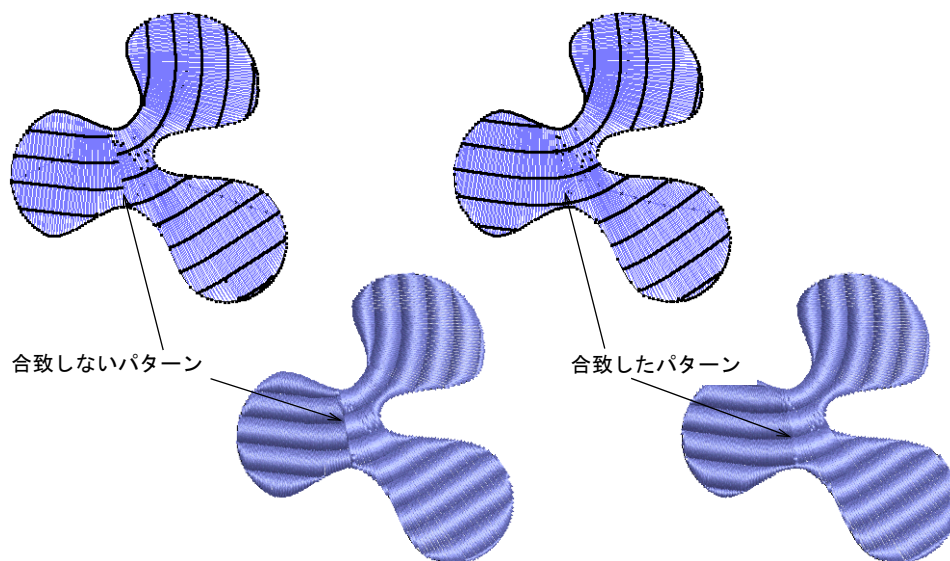
-  ツールボックス>アウトラインツール>バックステッチを使用し、デジタイズされたラインに沿ってバックステッチを配置する。右クリックで設定。
-  ツールボックス>アウトラインツール>ステムステッチを使用し、デジタイズされたラインに沿ってステムステッチを配置する。右クリックで設定。

以前のステッチ長の最大値はステムステッチ、バックステッチ共に 4.5 mm でしたが、ユーザーの要望にお応えし 8mm に増加しました。ステムステッチの最大間隔は 4.5mm に増加し、バックステッチの最大コードギャップは 8mm になりました。



## フュージョン入力のフィルパターンの合致

複数のステッチ角度を持つフュージョン入力オブジェクトを作成すると、セグメントの接合部分のタタミパターンがぴったりと合わないということがあります。これは初期設定（オフセットフラクション A=0.25、B=0.25）と異なったパターンでよりはっきりと現れていました。

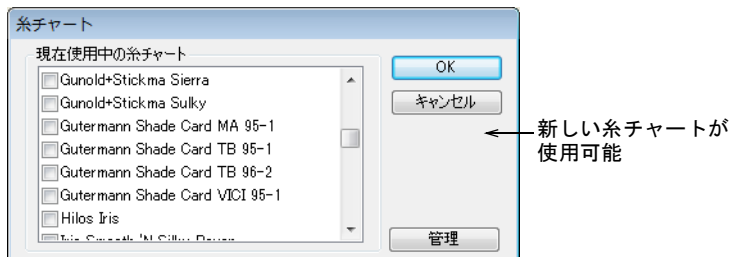


Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、フュージョン入力で作成したタタミパターンが合致するよう自動マッチング機能を採用しています。詳細はオンスクリーンマニュアルの **タタミオフセットで装飾的な効果を作成する** をご覧下さい。

## 新規糸チャート

下記の糸チャートが新しく EmbroideryStudio に追加されました。

- ◀ Iris UltraBrite Polyester
- ◀ Iris Smooth 'N Silky Rayon
- ◀ Madeira Frosted Matt 40
- ◀ Timeless



## 利用性の向上

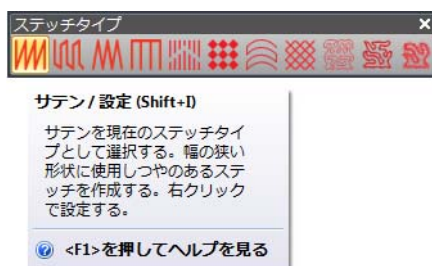
Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、インターフェースとシステムの利用性に関する大幅な改良が行われています。

### モニター画面の調整の改良

デザインの実寸表示が正しく実際のサイズで表示されるようにするには、ディスプレイモニターを設定する必要があります。モニター画面の調整機能は、**セットアップ** > **モニターの画面調整** から簡単にアクセスできるようになりました。画面の調整が行われていなくとも、TrueView 表示の向上は確認することができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの **ディスプレイモニターを設定する** をご覧下さい。

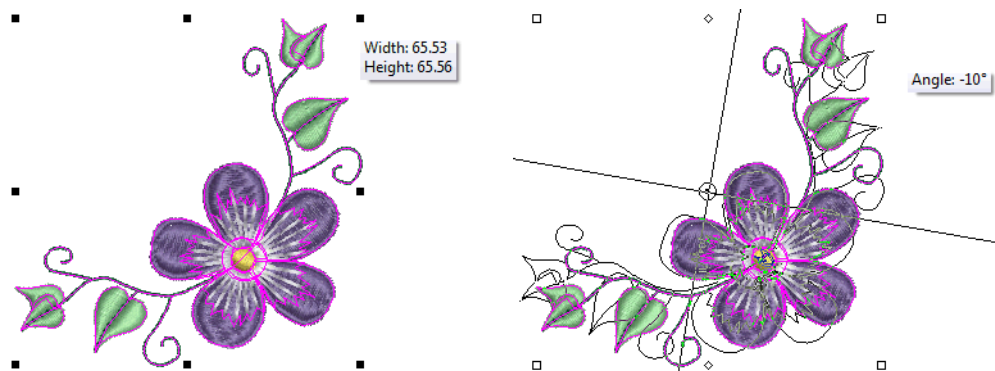
### 拡大したツールチップ

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 のツールチップは拡大され、各ツールの説明をより細かく表示しています。<F1> を押すと、そのツールに関するヘルプにアクセスします。



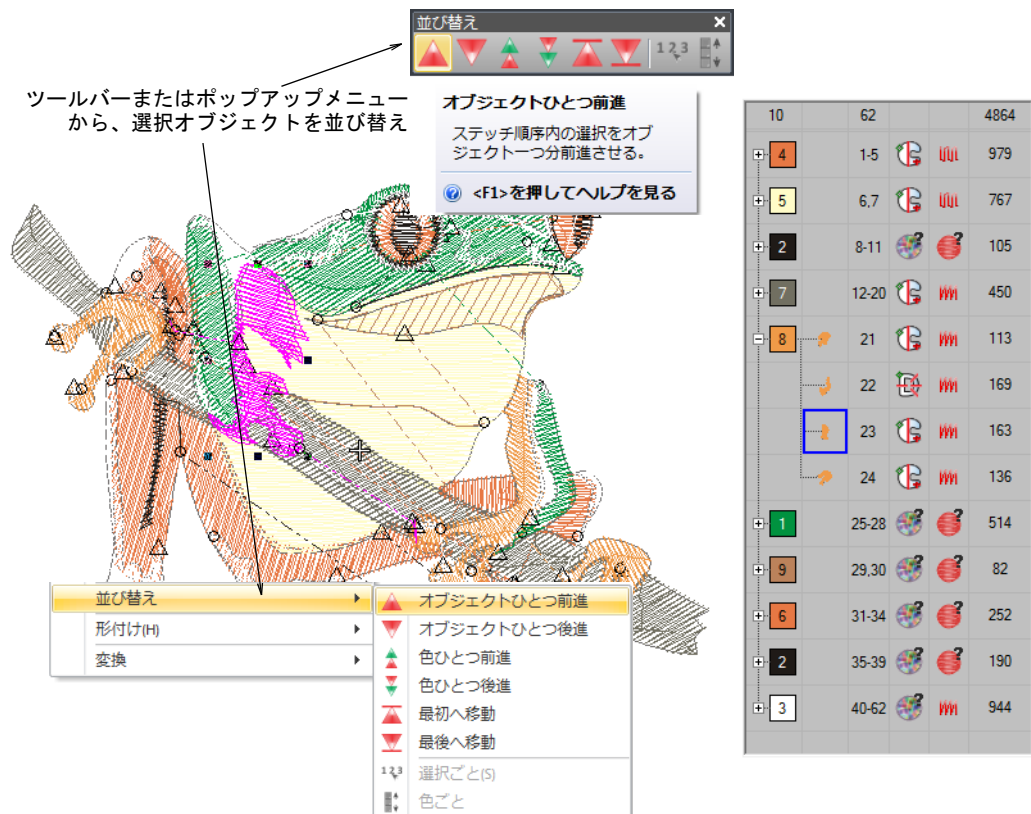
## 回転と傾斜のツールチップ

ツールチップはサイズ変更、回転、傾けるといったすべての変形操作で表示されます。詳細はオンスクリーンマニュアルの[オブジェクトのアレンジ、サイズ変更と変形](#)をご覧ください。



## 新機能 並び替えコマンド

新機能の並び替えツールバーは、オブジェクトの並び替えに便利なツールを揃えています。カラーオブジェクトリストと合わせて使用したり、ポップアップメニューの並び替えオプションでその場で並び替えすることができます。またカラーオブジェクトリストのポップアップメニューからも同じオプションにアクセスすることもできます。詳細は[オンスクリーンマニュアルの刺繍デザインの縫い順序変更](#)をご覧ください。



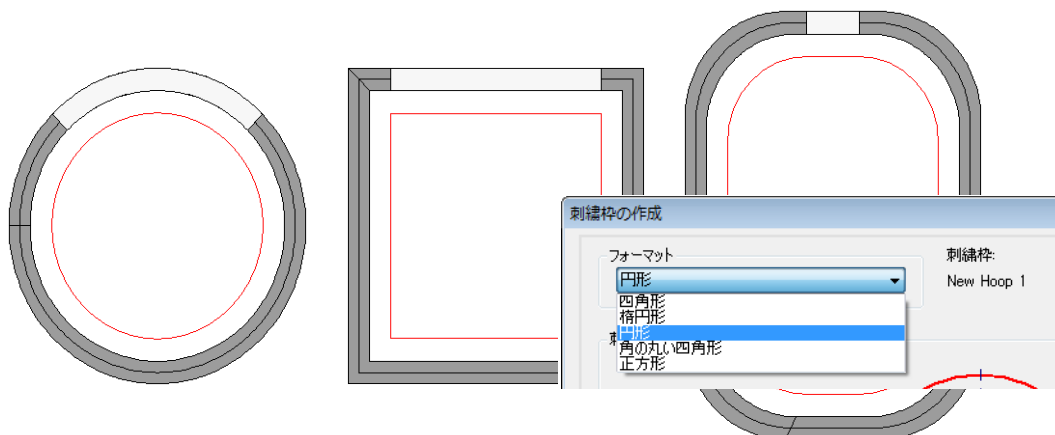


## ユーザー設定の刺繍枠



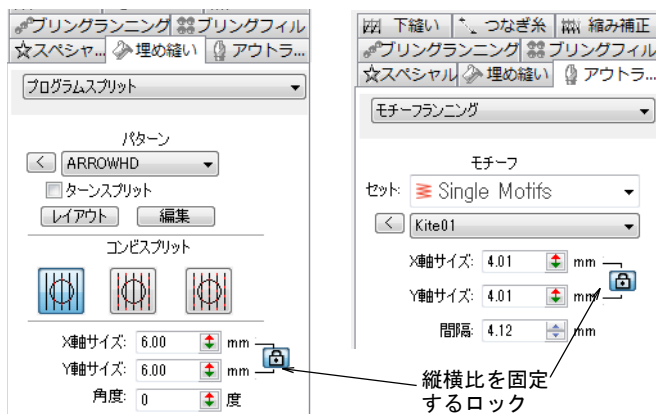
表示 > 刺繍枠を表示をクリックし、刺繍枠表示のオン/オフを切り替える。右クリックで刺繍枠の設定を変更する。

枠を作成機能は、標準装備として EmbroideryStudio - レタリングと EmbroideryStudio - 編集でも使用できるようになりました。刺繍枠リストにない刺繍枠サイズを使用している場合、独自の刺繍枠を定義し後で使用できるよう保存することができます。詳細はオンスクリーンマニュアルの [ユーザー設定刺繍枠を定義する](#) をご覧ください。



## 縦横比を固定したサイズ変更

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、オブジェクトプロパティでモチーフや他のパターンの縦横の比率を保ちつつサイズ変更ができるようになりました。パターンサイズを変更する際に、縦横比を固定するロックを使用します。



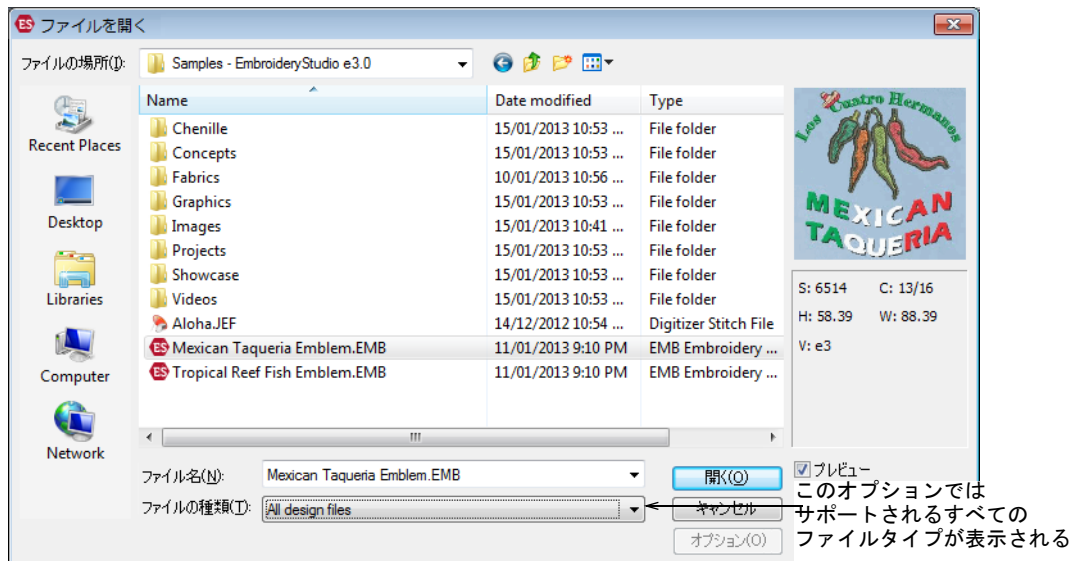
## 「すべてのデザインファイル」機能を開く



標準 > 開くを使用し、既存のデザインを開く。

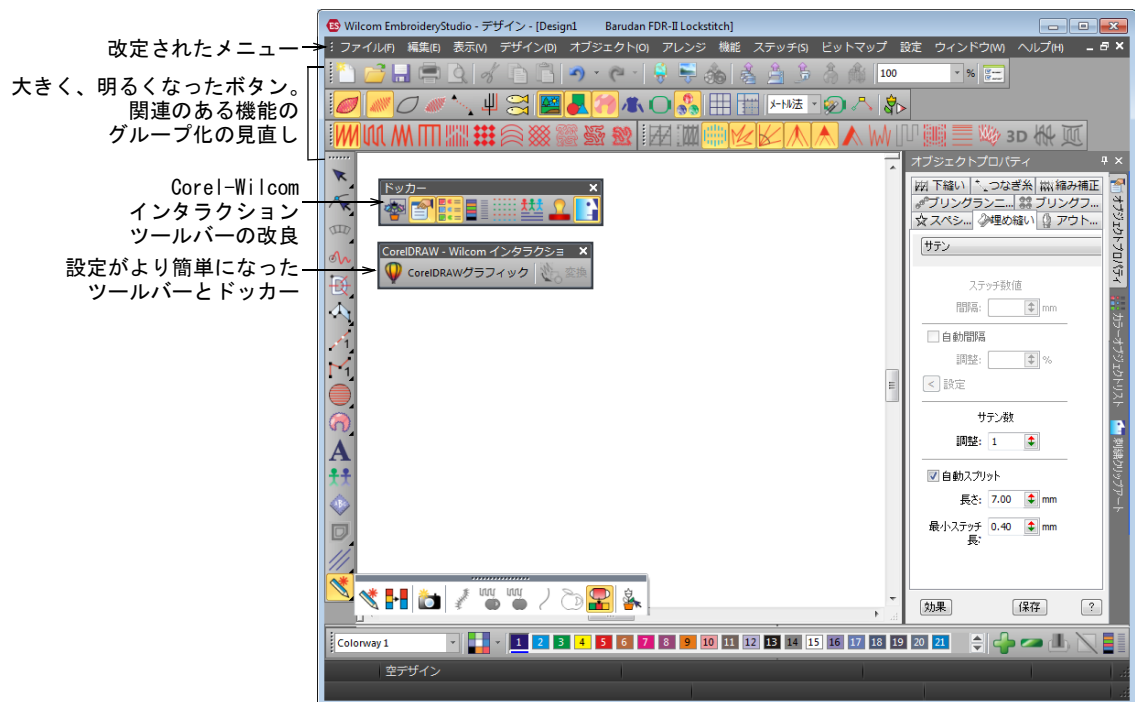
開くダイアログには、サポートするすべてのデザインファイル (EMB、EXP、DST など) を表示する「すべてのデザインファイル」オプションがあります。特定のファイルタイプ

(例 : EMB) を検索するのでないかぎりには、ファイルの種類設定を変更する必要はありません。詳細はオンスクリーンマニュアルの **デザインを作成、保存する** をご覧下さい。



## インターフェイスの改良

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 ではパートナー製品である CorelDRAW (R) Graphics Suite X6 に合わせて、新しい配色とインターフェースのアップデートを行っています。



## メニューの改良

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 のメニューの大幅な再構成が行われています。

メニュー	注記
ファイル 編集 表示	これらのメニューは存続していますが、内部組成と名称の改良が行われています。
デザイン	新メニュー。デザイン全体に影響するコマンドが集められています。他のメニューやツールバーに分散していたコマンドが合理的にグループ化されています。
オブジェクト	新メニュー。オブジェクトレベルで適用する機能が集められています。これらのコマンドも合理的にグループ化されています。
アレンジ	アレンジメニューは存続していますが、追加されたコマンドもあります。
機能	新メニュー。マシン機能の処理に関連したコマンドが集められています。
ステッチ	ステッチメニューには、ステッチ編集に関連したコマンドが集められています。既存のメニューは存続していますが、追加されたコマンドもあります。
ビットマップ	このメニューは旧イメージメニューで、内部組成と名称の改良が行われています。
セットアップ	新メニュー。システム設定と管理に関連した機能が集められています。
ウィンドウ	ウィンドウメニューは存続していますが、ウィンドウに表示されるすべてのもの（ドッカー含む）へアクセスすることができます。
ヘルプ	ヘルプメニューは存続していますが、インストールされているまたはオンラインのヘルプとサポート資源によりよいアクセスが行えます。

## ツールバーの改良

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 のツールバーは似た機能を合理化し、より使いやすくなるよう改良が行われています。改良が行われたツールバーは以下のとおりです。

ツールバー	注記
CorelDRAW-Wilcom インタラクション	ユニバーサルツールバーは CorelDRAW-Wilcom インタラクション ツールバーに名称変更しました。これは CorelDRAW(R) Graphics Suite オプションと共に使用可能になります。 <b>Wilcom-Corel の統合の向上</b> も併せてご覧下さい。
アレンジ	新しくなったアレンジツールバーは、アレンジメニューと同様の修正が行われています。
オートデジタルイズ	新しく追加されたオートデジタルイズツールバーには、大幅な改良が行われたスマートデザイン機能を含む、オートデジタルイズに関連した機能が集められています。 <b>オートデジタルイズに関する改良</b> も併せてご覧下さい。
ブリング	新しくなったブリングツールバーには、新機能のブリングレタリングツールが追加されています。 <b>新機能 ブリングレタリング</b> も併せてご覧下さい。
カラーパレット	このツールバーは表示オプション機能のみ変更があります。

ツールバー	注記
作成スペシャル	このツールバーには、以前はスペシャルメニューにあったモチーフ使用機能が追加されています。
ドッカー	新しく追加されたドッカーツールバーからは、ウィンドウメニューからもアクセス可能なドッカーダイアログへの素早くアクセスできます。
機能	新しく追加された機能ツールバーからは、旧生成ツールバーとステッチ / 機能ツールバー、マシンメニューより使用可能だったマシン機能に素早くアクセスできます。
オブジェクト変形	このツールバーには、ステッチ / 機能ツールバーより移動した最後のステッチを省略 / 保持機能が追加されています。
シフリ	新しくなったシフリツールバーには、新機能のシフリのパート構成アイコンが追加されています。
並び替え	新しく追加された並び替えツールには、オブジェクトの並び替えに便利なツールが含まれています。 <b>新機能</b> <b>並び替えコマンド</b> も併せてご覧ください。
標準	標準ツールバーは CorelDRAW 標準ツールバーを反映し、再構成されています。
ステッチタイプ	新しくなったステッチタイプツールバーには、新しくスティプルバックステッチとスティプルステムステッチが追加されています。 <b>バックステッチ &amp; ステムステッチのスティプルフィル</b> も併せてご覧ください。
変形	新しくなった変形ツールバーからは、基準線によるオブジェクトの変形処理に素早くアクセスできます。
表示	新しくなった表示ツールバーには、リピート、アップリケ生地、背景イメージを表示する機能が搭載されています。 <b>アップリケオブジェクトの生地見本</b> も併せてご覧ください。
ズーム	新しく追加されたズームツールバーからは、すべてのズーム機能にアクセスできます。

## その他の改良点

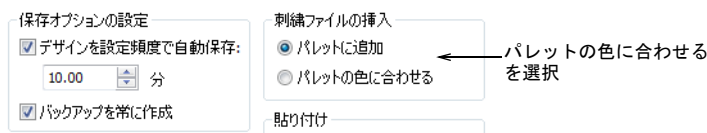
Wilcom EmbroideryStudio e3.0 では、その他下記の改良が行われています。

### モノグラムにシークインデザインを追加する

装飾タブからシークインなどのある特定のデザイン項目をモノグラムデザインに挿入すると、アプリケーションが停止するという問題が報告されていましたが、すでに修正されています。

### 「パレットの色に合わせる」で JEF ファイルを挿入する

インポート方法を「パレットの色に合わせる」に設定して JEF ファイルを挿入すると、アプリケーションが停止するという問題が報告されていましたが、すでに修正されています。



上記に関連し、「パレットをコンパクトにする」機能が「パレットの色に合わせる」機能と併用できないということがありました。インポートされたファイルの色は合っているが、パレットをコンパクトにすると色がいくつか失われてしまうといった問題ですが、すでに修正されています。

### 黒のハイライトなしに TrueView を表示する

TrueView の不要な黒のハイライト（開いたステッチ部分でよく確認できる）が表示されるという問題が CorelDRAW (R) Graphics Suite で報告されており、またビットマップとしてデザインをキャプチャーする際に同じような問題が発生すると報告されていましたが、これらの問題は修正されています。

### 複数回発生するスクロール

デザインウィンドウの隅をデジタイズする際カーソルをスクリーンの隅に移動すると、何度もスクロールされるといった問題が報告されていましたが、すでに修正されています。

### CorelDRAW で表示されるブリングオブジェクトのアウトライン

CorelDRAW (R) Graphics Suite でブリングオブジェクトのアウトラインが不必要に表示されていましたが、すでに修正されています。

### Wilcom 独自の EMB

Wilcom 独自のデザインファイルは「デザインファイル (EMB)」から「Wilcom EMB デザイン (EMB)」に名称が変更になりました。デザインを開くとデザイン保存ダイアログでは、以下のファイルタイプがドロップリストで表示されています。

- ◀ Wilcom EMB デザイン e3 (\*.EMB)
- ◀ Wilcom EMB デザイン e2 (\*.EMB)
- ◀ Wilcom EMB デザイン e1.8 (\*.EMB)
- ◀ Wilcom EMB デザイン e1.5 (\*.EMB)
- ◀ Wilcom EMB デザイン e1 (\*.EMB)
- ◀ Wilcom EMB デザイン V2006 (\*.EMB)

テンプレートファイルは同じような形態になっています。

- ◀ Wilcom EMB テンプレート (\*.EMT)



メモ EMB ファイルフォーマットは、EMB バージョン V2006 以降のフォーマットにのみ保存できます。

# 付録

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 は、刺繍&マルチデコレーションに必要な機能一式を搭載した Wilcom ソフトウェアの最新版です。

## 新機能と改良機能の概要

EmbroideryStudio に含まれている新機能と改良機能の概要は下記の通りです。

機能	製品レベル			参照項目
	レタリング	編集	デザイン	
<b>作業環境の強化</b>				<b>作業環境の強化</b>
Explorer 内のマルチデコレーションデザインを特大 TrueView サムネイルで表示	●	●	●	Wilcom EMB の表示システムの強化
ツールバーの修正、改良	●	●	●	ユーザーインターフェースの向上
新製品 CoreIDRAW Graphics Suite X6.1 機能をセット			●	新導入 CoreIDRAW X6 機能
より質の高い刺繍変換が可能な CoreIDRAW - Wilcom インタラクション			●	Wilcom-Corel の統合の向上
インストールとプロダクトのアップデート / アップグレードの取扱の改良	●	●	●	利便性と効率性の向上
マルチユーザー用ネットワークドングルのサポート	●	●	●	マルチユーザー用のネットワークドングル
<b>デジタイズに関する強化</b>				<b>デジタイズの強化</b>
オフセットオブジェクトー標準			●	アウトライン & オフセットの強化
アウトラインとオフセットオブジェクトー上級			○	アウトライン & オフセットの強化
すべてのステッチタイプがフリーハンドツールで使用可能			○	フリーハンドステッチ & カリグラフィ
基となるオブジェクトと同位置またはオフセットに複製できるオプションの追加	●	●	●	複製オブジェクトをオフセットを反復する
傾斜したジグザグとダブルジグザグの下縫いの改良		●	●	斜めのジグザグ下縫い
さらに高解像度の TrueView の導入により、DTG プリント用に 600DPI までの画面イメージがキャプチャ可能			○	新機能 TrueView プリント
ビットマップから刺繍への変換の改良			○	グラフィックから刺繍への変換の改良
<b>デザイン表示の強化</b>				<b>デザイン表示の強化</b>
高解像度の TrueView サムネイルが Windows と ES Design Explorer で表示可能	●	●	●	TrueView イメージ表示の向上
● 標準装備 ○ モジュール式「エレメント」				

機能	製品レベル			参照項目
	レタリング	編集	デザイン	
アップリケオブジェクトに生地見本を導入			●	アップリケオブジェクトの生地見本
刺繍シュミレーションに「ステッチ範囲」コントロールを導入	●	●	●	刺繍シュミレーションの強化
一般的な「手のマーク」アイコンと機能をパンニング機能に採用	●	●	●	パンニングをズームの強化
プロダクトイメージの初期設定の倍率の改良	●	●	●	より正確な大きさに調整されたプロダクトイメージ
<b>レタリングの改良</b>				<b>レタリングの向上</b>
刺繍レタリングオブジェクトのステッチが自動的に生成されるように改良	●	●	●	レタリングオブジェクトの自動ステッチ生成
新機能ブリングレタリングブリングフィルやブリングランニングでレタリングが作成可能			○	新機能 ブリングレタリング
ステッチ順序を保ちながらレタリングオブジェクトの分解が可能		●	●	マルチレベルに分解できるレタリング
ナイフツールでレタリングオブジェクトの切り取りが可能			●	ナイフツールでレタリングを切り取る
変換機能を使用して刺繍レタリングをベクターに変換			●	刺繍レタリングからベクターに変換する
新しくプロによりデジタイズされた書体（15種類）	●	●	●	新書体
<b>オートデジタイズに関する改良</b>				<b>オートデジタイズに関する改良</b>
オートデジタイズツールとして一つに統合されたオートデジタイズ機能			○	Point&Stitch の改良
「すべてのグラフィックファイル」のインポートフィルターの表示し、サポートしているファイルタイプ（BMP、PNG、JPG など）を開く	●	●	●	グラフィックのインポートの改良
デジタイズする際の下絵用やオート処理用のイメージの切り取りの改良			●	新機能 「一時切り取り」機能
ビットマップの準備と変換等のスマートデザインの大幅な改良			○	ビットマップの準備の改良
ビットマップやベクターの変換に関する改良			○	CorelDRAW(R) Graphics Suite のグラフィック変換の改良
ビットマップの準備と変換等のスマートデザインの大幅な改良			○	スマートデザインにおける改良点
ファウンテンフィルを使用したベクターを変換すると、淡青色ではなく妥当な色に変換される			●	グラデーション塗りつぶし変換の向上
<b>ステッチ品質の改良</b>				<b>ステッチ品質の向上</b>
いつでもアクセスでき、どのデザインにも適用可能になった自動生地コマンド	●	●	●	自動生地の改良
選択したテンプレートの初期設定のみベースにする、または生地設定を追加する	●	●	●	デザイン作成機能の向上
● 標準装備 ○ モジュール式「エレメント」				



機能	製品レベル			参照項目
	レザリング	編集	デザイン	
角度や方向、平行ステッチ等よりよいコントロールが可能になった入力方法 C			●	入力方法 C の調整可能なステッチ角度
より多くのステッチタイプとの使用が可能になったスティプルフィル			○	バックステッチ & ステムステッチのスティプルフィル
最大値が増加したステムステッチとバックステッチ			○	最大値が増したステムステッチとバックステッチ
フュージョン入力オブジェクトのタタミパターンの繋ぎ目が合致する		●	●	フュージョン入力のフィルパターンの合致
新規系チャートの導入 (Iris UltraBrite Polyester、Iris Smooth 'N Silky Rayon、Madeira Frosted Matt 40、Timeless)	●	●	●	新規系チャート
<b>利用性の改良</b>				<b>利用性の向上</b>
さらに簡単に正確になったモニター画面の調整	●	●	●	モニター画面の調整の改良
拡大したツールチップとツールバーボタンに対応するヘルプの表示	●	●	●	拡大したツールチップ
回転と傾斜操作時のツールチップの表示	●	●	●	回転と傾斜のツールチップ
オブジェクトの並び替えに便利な新機能の並び替えツール			●	新機能 並び替えコマンド
縦横比を保ちながらパターンのサイズ変更ができるロック機能	●	●	●	縦横比を固定したサイズ変更
ファイルを開く際に簡単にすべてのファイルを見ることができる「すべてのデザインファイル」機能	●	●	●	「すべてのデザインファイル」機能を開く
<b>インターフェースの改良</b>				<b>インターフェースの改良</b>
メニューの改良	●	●	●	メニューの改良
ツールバーの改良	●	●	●	ツールバーの改良
<b>その他の改良</b>				<b>その他の改良点</b>
モノグラムにシークインデザインを問題なく追加可能	●	●	●	モノグラムにシークインデザインを追加する
「パレットの色に合わせる」と共に JEF ファイルを問題なく挿入可能	●	●	●	「パレットの色に合わせる」で JEF ファイルを挿入する
不要な黒のハイライトなしに TrueView を表示可能	●	●	●	黒のハイライトなしに TrueView を表示する
不要な複数スクロールの削除	●	●	●	複数回発生するスクロール
ブリングアウトラインは CorelDRAW で表示されない			●	CorelDRAW で表示されるブリングオブジェクトのアウトライン
Wilcom 独自のデザインファイルが Wilcom EMB デザイン (EMB) に名称変更	●	●	●	Wilcom 独自の EMB
● 標準装備 ○ モジュール式「エレメント」				





















メモ 各製品レベルでの新規 / 改良版の各機能の項目別リストは、EmbroideryStudio ユーザーマニュアルの **プロダクト機能一覧** をご参照ください。



## 機能ごとのモジュール式エレメント

下記は Wilcom EmbroideryStudio e3.0 のモジュールセットです。

項目	機能	参照項目
<b>プロダクティブ</b>		
 上級オフセット	アウトライン & オフセット	アウトラインとオフセットを生成する
 上級チーム ネーム	チームネーム レイアウトを作成	チームネームレイアウトを作成する
 ベクター ドローイング	ドローイングツール	EmbroideryStudio でベクターを作成する
 ビットマップを オートデジタイズ	ビットマップの準備	オートデジタイズに使用するイメージを 下処理する
	オートトレース	アートワークを自動トレースする
	オートデジタイズ	オートデジタイズで形状をデジタイズする
	スマートデザイン	スマートデザインでビットマップを変換する
 自動形付け	形付けツール	オブジェクトを形付ける
	オーバーラップ 自動解除	下側のステッチを取り除く
	中抜き部分の 埋め縫い	オブジェクトの中抜きを埋める
	オブジェクトを 閉じる	アウトラインを作成する
 自動アレンジ	ミラーマージ	リースと配列を作成する
<b>クリエイティブ</b>		
 ユーザー設定 スプリット	フレックス スプリット	フレックススプリットで装飾的な効果 を作成する
	ニードルスタンプ ユーザースプリット	ユーザー設定スプリットを作成する
 フリーハンド	フリーハンド	フリーハンド刺繍を作成する
 フォトフラッシュ	フォトフラッシュ	写真から刺繍を作成する

項目	機能	参照項目
 陰影効果 & 開いた埋め縫い	クロスステッチ フィル	クロスステッチフィルを作成する
	スティプルフィル	スティプルラン効果を作成する
	トラプント	トラプントで開いたステッチを作成する
	アコーディオン スペース	アコーディオン効果を作成する
	カラーブレンド	色を混ぜ合わせて効果を作成する
 曲線状の埋め縫い	リキッド効果	リキッド効果で曲線の埋め込みを作成する
	フローティング効果	フローティング効果で曲線の埋め込みを作成する
	ラインステッチ	ラインステッチの埋め縫いを作成する
 モチーフ	モチーフフィル	モチーフフィルを作成する
	モチーフランニング	モチーフランニングの作成
	モチーフ作成	モチーフを管理する
	モチーフ使用	シングルモチーフを扱う
	3D ワープ	3D 効果をモチーフフィルに適用する
<b>デコレーション</b>		
 ブリング	ブリング作成	ブリングをデジタイズする
	ブリングレタリング	ブリングレタリングを作成する
 TrueView プリント	ビットマップで TrueView プリントを キャプチャー	高解像度の TrueView プリント
 シークイン	上級シークイン	シークインをデジタイズする
	シークインフィル	シークインフィルを作成する
	ツインシークイン	ツインシークインデザインを設定する
 書体クリエーター	文字作成	ユーザー設定書体を作成する
	TrueType フォント 変換	TrueType フォントを刺繍書体に変換する
 サガラ		サガラ増補版をご覧ください。
 シフリ		シフリ増補版をご覧ください。

## 新書体の導入

Wilcom EmbroideryStudio e3.0 には、新しくプロによりデジタイズされた書体が導入されています。オプションは下記の通りです。

### 書体

#### ブリング書体

書体

Bling Block

Bling Block

Bling Hollow

Bling Hollow

Bling Script

Bling Script

ロゴタイプ書体

Museo

Museo

Adelle

Adelle

Market

Market

ファンシー書体

Tusj

Tusj

ランニングステッチ書体

Run Cardigan

Run Cardigan

Run Freehand

Run Freehand

## 書体

Run Liberty

A B C D E F a b c d e f  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

Run Murray Hill

A B C D E F a b c d e f  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

## キリル書体

Russian Textbook

А Б Ц Д Е Ф а б ц д е ф  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

Jikharev

А Б Ц Д Е Ф а б ц д е ф  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9



メモ 6種類の新しい日本語書体（各3000文字づつ）は [www.wilcom.com](http://www.wilcom.com) からダウンロードいただけます。

## TrueView プリントのデザインオプション

TrueView プリントを作成するには、2種類の方法があります。



メモ プリントをするイメージの画質は、プリンターの DPI と同じである必要はありません。Tシャツへのプリントなど一般的な用途の場合、120 から 300 DPI の範囲に設定すればよい結果が得られます。解像度の高いものは紙や印画紙へのプリントに適しています。

### 刺繍のみ TrueView プリント

デザインの刺繍部分のみを TrueView プリントとして出力する場合は、下記の通り行います。

## 刺繍のみ TrueView プリントするには

- 1 EMB デザインを開き、ファイル>ビットマップで TrueView プリントをキャプチャーを選択します。



- 2 適切なビットマップの解像度（例：300DPI）を選択します。
- 3 OK をクリックし、デザインを PNG ファイルで保存します。

デザイン中の刺繍部分のみが PNG ファイルで出力されます。生成されたイメージは TrueView 設定がオフであっても、常に TrueView で表示されます。これで製品にプリントするファイルの準備ができました。



## 刺繍＋グラフィック両方を TrueView プリント

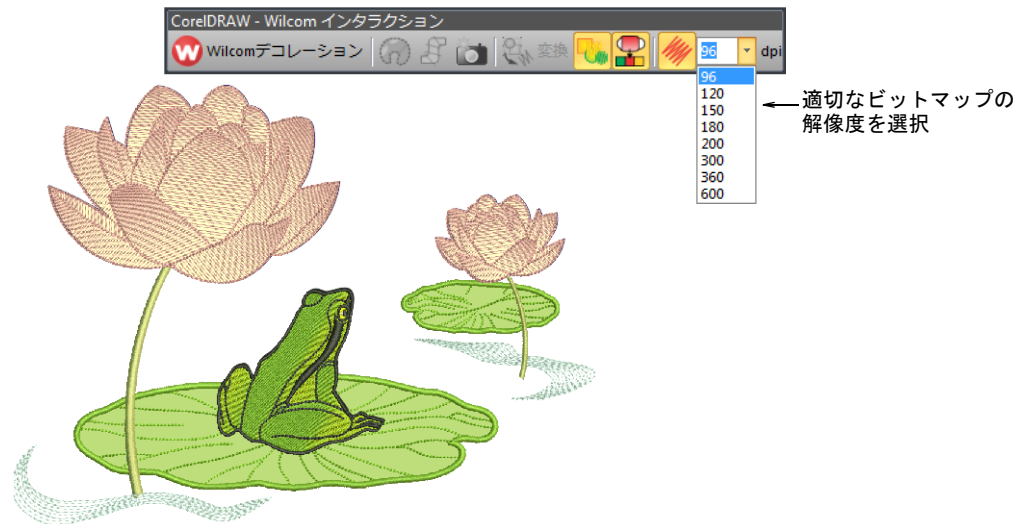
刺繍とグラフィック両方を TrueView プリントとして出力する場合は、下記の通り行います。



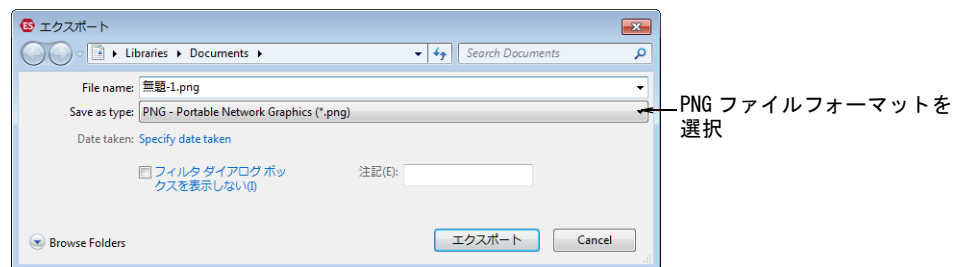
参考 この場合、マルチデコレーションファイルのエクスポートコマンドは刺繍をプリントとして扱わないので使用しません。

## 刺繍+グラフィック両方を TrueView プリントするには

- 1 EMB デザインを開き、CorelDRAW グラフィックに切り替えます。



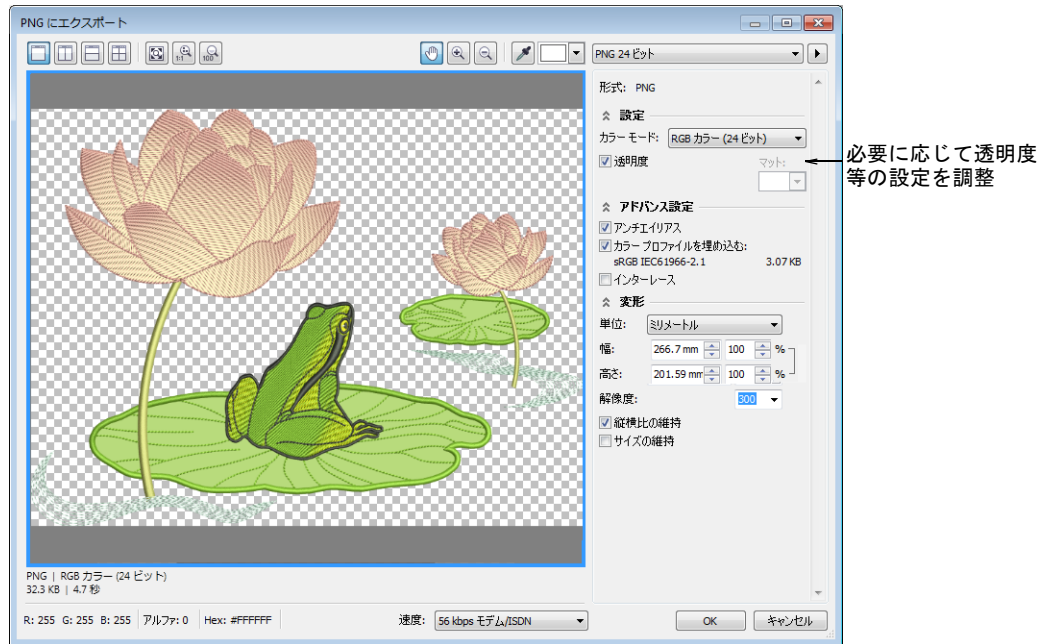
- 2 適切なビットマップの解像度（例：300DPI）を選択します。  
この設定は TrueView イメージをどれくらい精密に画像化するかを決定します。
- 3 ファイル>エクスポート>PNG を選択します。



- 4 OK をクリックします。



PNGにエクスポートダイアログが開きます。



5 必要に応じて透明度、アンチエイリアス処理、DPI 設定を調整します。



メモ このダイアログの DPI 設定は、TrueView 画像化の DPI 解像度には影響しません。実際の出カファイルの DPI のみに影響します。

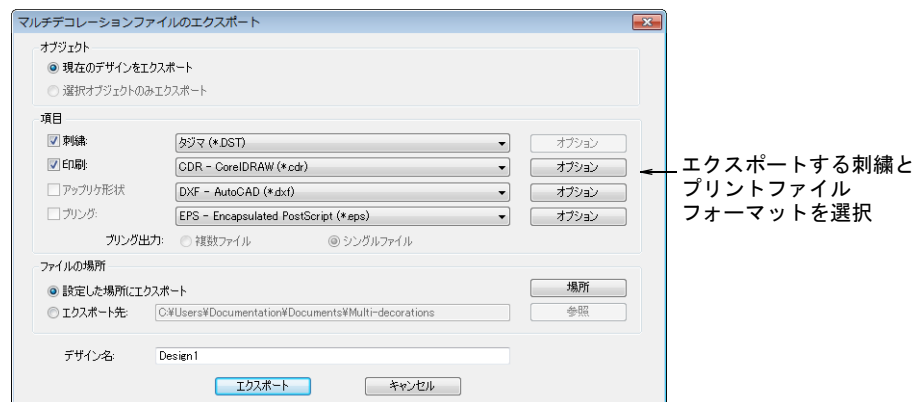
6 OK をクリックしてエクスポートします。

## 実際の刺繍＋プリント

実際の刺繍とプリント両方を組み合わせたデザインを作成したい場合は、2つの方法があります。

### オプション1: 両方のファイルを一緒にエクスポートする

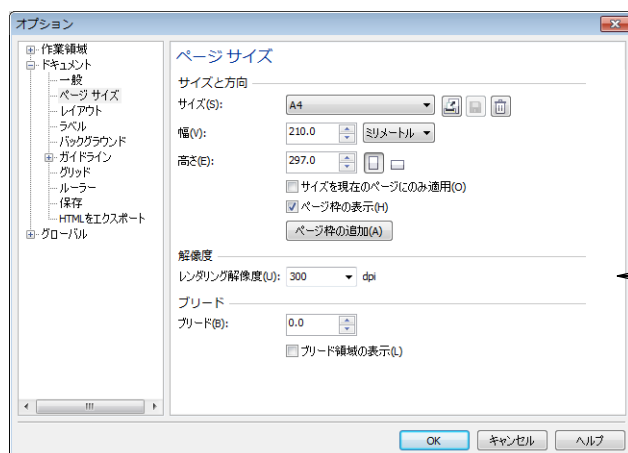
◀ **ファイル** > マルチデコレーションファイルのエクスポートコマンドを選択します。



◀ 刺繍とグラフィックプリントファイルのエクスポートするフォーマットを、別々に選択します (例: DST と PNG)。



メモ ここで PNG を選択すると、CorelDRAW の初期値は 300DPI になります。この値は CorelDRAW オプションダイアログから変更できます。



必要に応じてビットマップ  
ファイルのエクスポート  
解像度を変更

## オプション 2: ファイルを別々にエクスポートする

- ◀ 刺繍生産用のファイルを作成するには、Wilcom 画面でファイル名をつけて保存を選択し、適切なマシンファイルフォーマット（例：DST）を選択します。
- ◀ グラフィック生産用のファイルを作成するには、CorelDRAW (R) Graphics Suite に切り替えます。
  - ◀ 刺繍表示をオフにする
  - ◀ ファイル>エクスポート>PNG を選択し、グラフィックのみ用に PNG DTG プリントファイルをエクスポートする

## システムの必要条件

インストールする前に、コンピューターがシステム必要条件を満たしているか確認してください。

### PC の必要条件

EmbroideryStudio お使いの PC がシステムの必須条件を満たしていることを確認してください。またハードディスクの空き容量と GPU/RAM も合わせて確認してください。下記の表でシステムの必須条件と推奨条件を確認いただけます。

項目	必要最低条件	推奨
CPU	Intel (R) Pentium (R) 4、AMD Athlon (TM) 64 または AMD Opteron (TM)	2GHz+ 最新の Intel または AMD 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) マルチコアプロセッサ
オペレーションシステム	Windows (R) XP SP3 (32 ビット)	最新のサービスパック (32 ビットまたは 64 ビット版) がインストールされた Microsoft (R) Windows (R) 7 または 8
ブラウザ	I. E. 7.0 以上	I. E. 7.0 以上
インターネット接続	製品のユーザー登録やソフトウェアのアップデート用として、インターネット接続の環境を設定することを推奨します。最新のオペレーティングシステム情報は、Wilcom サポートセンターにアクセスください。 <a href="http://www.wilcom.com.au/support">www.wilcom.com.au/support</a> .	
メモリ	1GB	2MB (複数アプリケーション利用時はそれ以上)
ハードディスクサイズ	40GB	80GB、またはそれ以上

項目	必要最低条件	推奨
空きディスク容量 †	インストール後、最低 10GB 以上の空きスペース	インストール後、20GB
グラフィックカード	ハイカラー (32 ビット)、1024x768 の高解像度をサポート	DirectX9 をサポートするグラフィックカード ・ WDDM ドライバ ・ 512MB またはそれ以上のグラフィックスメモリ (非統合型) ・ ピクセルシャドウ 2.0 ・ 32 ビット / ピクセル ・ 2 モニター可能
モニター †	17 インチで 1280x768 の解像度	1280x1024 またはそれ以上の表示で、2 モニター可能。Windows (Vista、Win7 または 8) で推奨されている最大ネイティブ解像度
スキャナー、プリンタ Windows と互換性のあるもの (例: パラレル、USB) / プロッター		
USB ポート	USB ドングルの専用 USB ポート	
読み取りドライブ	・ ソフトウェアのインストールには CD-ROM ドライブが必要 ・ 付属 DVD 用の 2 層型 DVD-ROM	バックアップ装置 (例: CD/DVD バーナー、テープバックアップ、リムーバブルハードドライブ)
サウンドカード	マルチメディアトレーニングで必要	

#### サポートされているオペレーティングシステム

- ◀ Windows XP (32 ビット) はサポートされていますが、Windows XP を利用されているユーザーの方へは Windows 7 または Windows 8 へアップデートを考慮していただくことをお勧めしています。
- ◀ 最新のオペレーティングシステム情報は、Wilcom サポートセンターにアクセスください。 [www.wilcom.com.au/support](http://www.wilcom.com.au/support).

#### ハードディスクの空き容量 †

EmbroideryStudio ではオプションの内容により、およそ 1GB のハードディスク容量が必要とされます。

#### スクリーン解像度 †

モニターの解像度が低い場合、ユーザーインターフェースのすべてのコントロールボタンが表示されないことがありますので、モニター解像度をご確認ください。

## EmbroideryStudio における確認済み制限事項

EmbroideryStudio の確認済み制限事項は下記のとおりです。

#### PCX ビットマップサポートの中止

旧 Paint フォーマットである PCX ファイルフォーマットは、維持が困難であることから Wilcom EmbroideryStudio e3.0 でのサポートは中止となりましたが、CorelDRAW (R) Graphics Suite では引き続き PCX ファイルフォーマットをサポートしています。

#### Wilcom デコレーションのビットマップ挿入

CorelDRAW グラフィックモードでは、レイヤーを移動することによってビットマップはベクターオブジェクトの上に置くことができますが、Wilcom デコレーションモードに切り替えるとこの位置関係は失われ、自動的にビットマップが下のレイヤーに移動します。これは Wilcom デコレーションでは、ビットマップは常に背景にある為です。

## ベクターオブジェクトのカラーグラデーション

ベクターオブジェクトのカラーグラデーションは Wilcom デコレーションモードでは表示されませんが、CorelDRAW グラフィックに切り替えるとその効果を見ることができます。しかしカラーグラデーションが使用されているオブジェクトが Wilcom デコレーションモードでロックされていると CorelDRAW グラフィックに切り替えても効果は失われてしまいます。

## 斜めのジグザグ下縫い

角度が非常に小さな斜めの下縫いを使用すると、下縫いは作成したオブジェクトの境界線の外側まで拡大します。

## CorelDRAW から Wilcom にベクターオブジェクトをコピーする

ベクターオブジェクトを CorelDRAW グラフィックから Wilcom デコレーションにコピー & 貼り付けると縮小されますが、Wilcom デコレーションから CorelDRAW グラフィックへのコピー & 貼り付けは正確なサイズでコピーされます。

## CorelDRAW (R) Graphics Suite の等高線効果の変換

等高線効果が適用された CorelDRAW (R) Graphics Suite オブジェクトを作成すると、分解操作後にエラーが発生する場合があります。分解されていないオブジェクトは、刺繍デザインモードのオフセットツールに似た、刺繍ランニングステッチに直接変換することができるので、刺繍ランニングオブジェクトを生成するために等高線効果を適用したオブジェクトを分解する必要はありません。しかしながら、等高線効果を適用したオブジェクトが分解され、刺繍に変換された場合、思いがけない結果を生み出すことがあります。ほとんどのオブジェクトタイプが分解または変換できますが、円や楕円、サークルは問題を引き起こす場合があります。回避方法は下記の通りです。

### サークルや楕円を刺繍に変換するには

- 1 分解したい等高線効果を適用したオブジェクトを選択します。
- 2 右クリックし、等高線グループを分解を選択します。  
オリジナルの形状 / カーブと等高線 / オフセットのグループの 2 つのオブジェクトを生成します。
- 3 オブジェクトグループを選択し、右クリックをしてすべてグループ解除を選択します。  
これらの形状 / カーブは刺繍に変換することができます。



メモ CorelDRAW (R) Graphics Suite の等高線は、Wilcom EmbroideryStudio e3.0 のラインステッチ効果とは別のものです。

### フュージョン入力でのぼかしステッチ

片側にぼかしステッチを適用したフュージョン入力オブジェクトのステッチを再生成しようとする時、効果が反転して反対側に適用される事があります。これは予期せぬ動作ですが、技術的欠陥ではありません。ES 9 で作成されたフュージョン入力オブジェクトが e3.0 で再ステッチされる場合、改良されたトラベルランニングを含む新しいアルゴリズムでステッチされます。その結果、複合理め縫いをフュージョン入力に変換する際に、ぼかしステッチ効果を含む側が入れ替わる可能性が出てきます。この問題は、全てのフュージョン入力オブジェクトで発生する訳ではない事に注意して下さい。

### 「無視された」機能の編集

機能編集ダイアログでは、「無視された」機能の数値を変更することができません。

### インプロのマシンはストップコードで停止しない

初期設定では、インプロのマシンはストップコードで停止することなく自動的に針を交換します。これは色替え以外のストップで問題を引き起こします (例: 自動アップリケ

オブジェクトでのフレームアウトポイント)。インプロのフォーマットではタジマと同様、針のアドレッシングをサポートせず、ストップと色替え両方で一つのストップコードしか持ちません。しかしタジマのマシンと違い、インプロではマシンのオペレーターが同じ針を使用して、連続した2度のストップをストップ順序に設定してもマシンは停止しません。インプロの操作ボックスでは、ステッチパラメーターを多数設定することができます。(例：糸切りのジャンプ、最高スピード等。これらのパラメーターの一つは、ストップコードのオン/オフ初期設定ではオフになっている) マシンをストップコードで停止する為には、これをオンにする必要があります。

#### **バルダン FDR-II サガラコンビネーションの制限**

- ◀ 色ツールバーのパレットをコンパクトにするツールは、バルダン FDR-II サガラコンビネーションマシンフォーマットを使用するときは常に無効の状態となります。
- ◀ ストップ順序を定義は、バルダン FDR-II サガラコンビネーションデザインを開くと無効になります。

#### **JEF フォーマットの保存時のサイズ制限**

JEF フォーマットで保存する前に、常にデザインを自動センタリングするようにしましょう。デザインの縦横の範囲は、デザインの中心からそれぞれ 70mm または 100mm 以上であってはけません。この数値よりも大きいものは、JEFV1.0 でサポートされている刺繍枠に収めることができません。一番大きな刺繍枠のサイズは「枠 B (140x200)」となります。